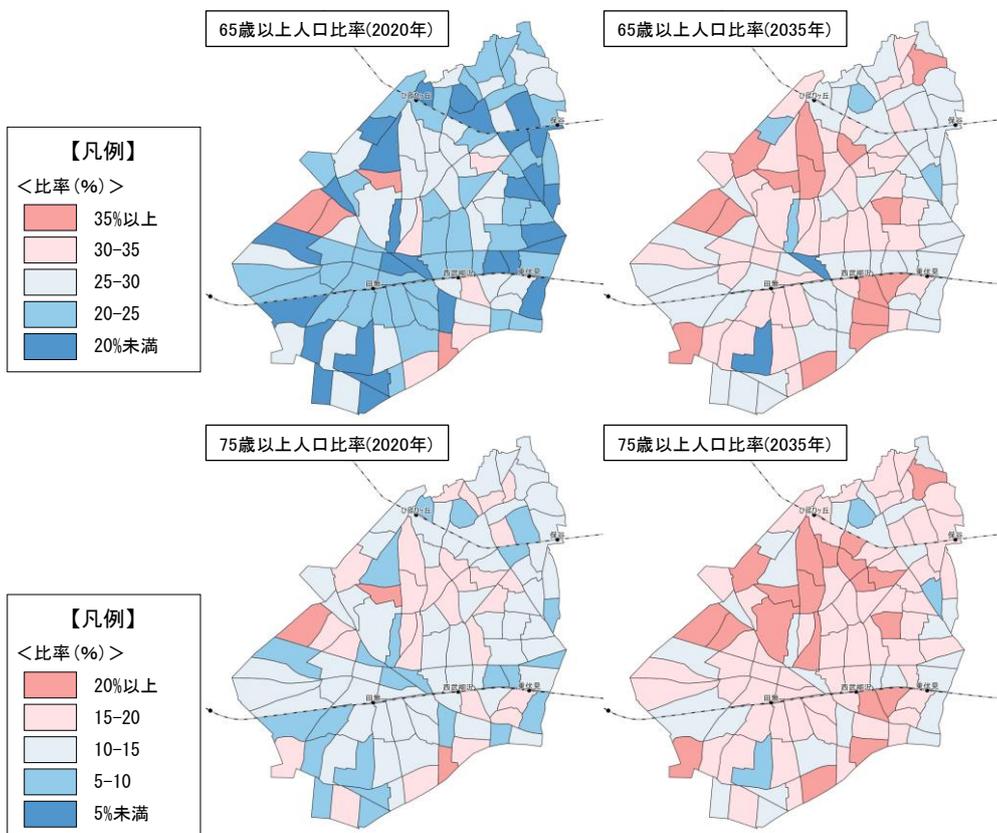


= 資料編 =

1. 地域の現状、公共交通の現状	資-1
2. 移動実態・移動に対する市民意識	資-4
2-1. 市民アンケート調査結果	資-4
2-2. 中学生アンケート調査結果	資-29
3. 現行計画の成果	資-30

1. 地域の現状、公共交通の現状

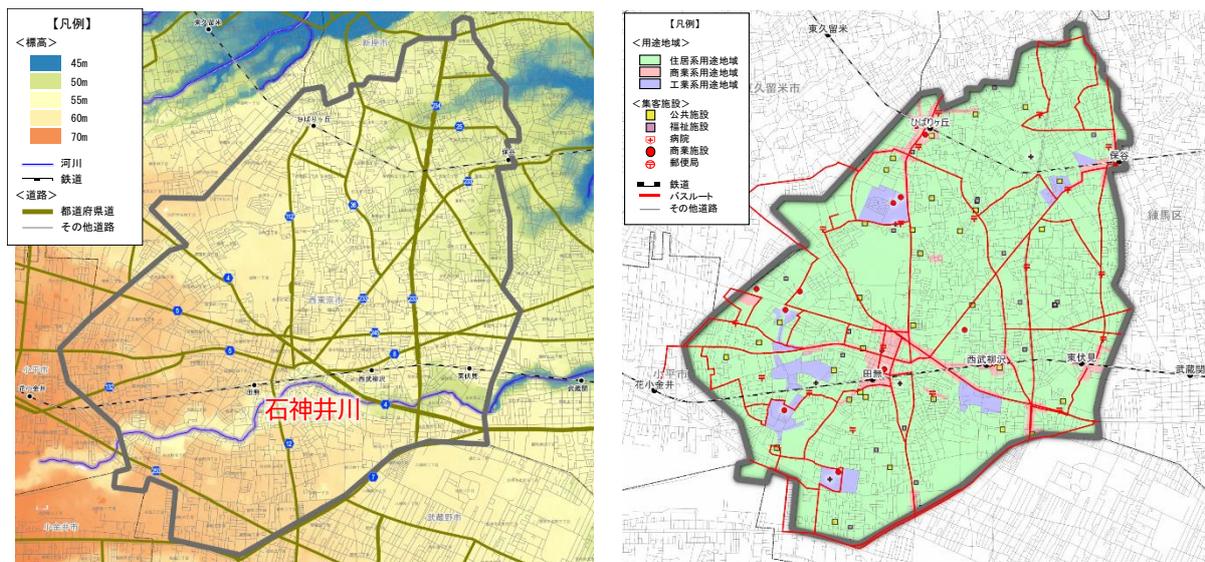
(1) 今後の高齢化率の変化



出典：「2020年」令和2年国勢調査、「2035年」将来人口・世帯予測ツール V2

図 将来人口分布

(2) 土地利用状況



出典：令和3年版 数字で見る西東京市、基盤地図情報より作図【左】
 用途地域 国土数値情報（令和元年）施設情報 西東京市オープンデータ、全国大型小売店総覧2023年版、日本郵便ホームページ等【右】

図 西東京市の地形（標高）【左】と西東京市の土地利用・集客施設の立地状況【右】

(3) 交通基盤の状況



図 西東京市内の優先整備路線及び都市計画道路の進捗状況

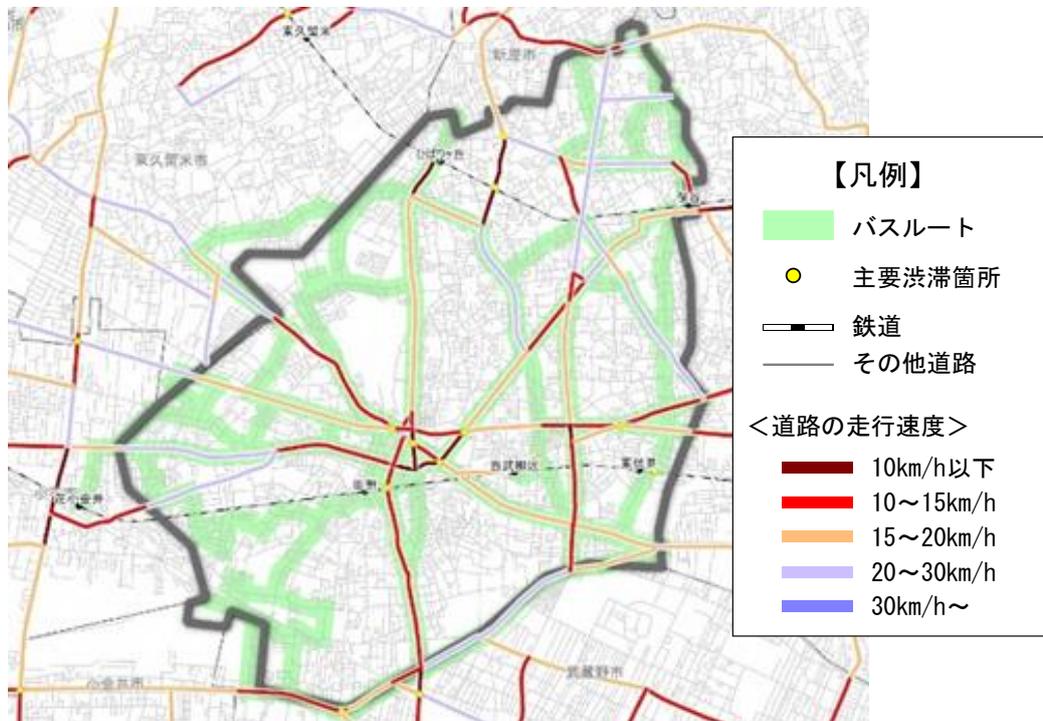
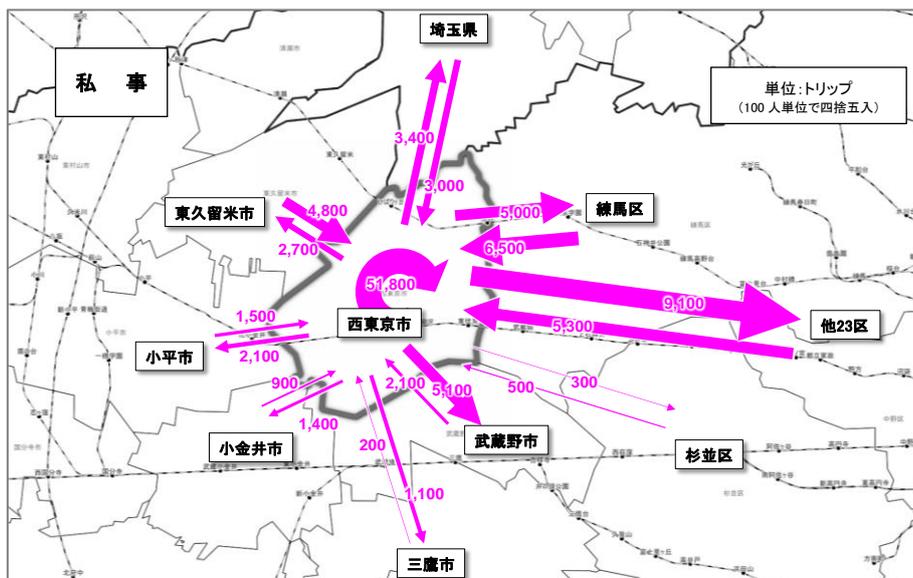
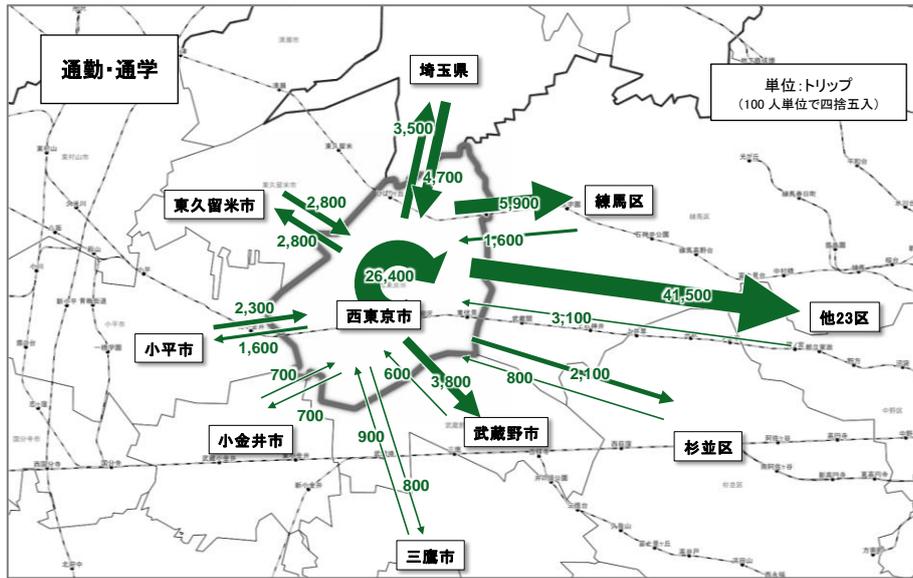


図 市内道路の混雑時の走行速度

(4) 交通流動状況



出典：平成30年 東京都市圏パーソントリップ調査

図 西東京市を起点とするトリップの流動（通勤・通学【上】、私事【下】）

2. 移動実態・移動に対する市民意識

2-1. 市民アンケート調査結果

(1) 回答者の属性など

①年齢構成

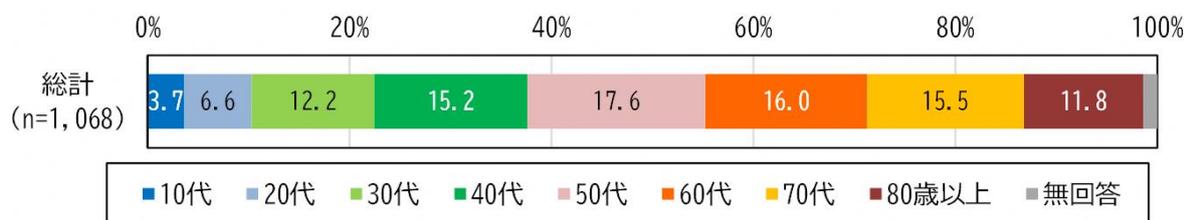


図 回答者の年齢

②職業

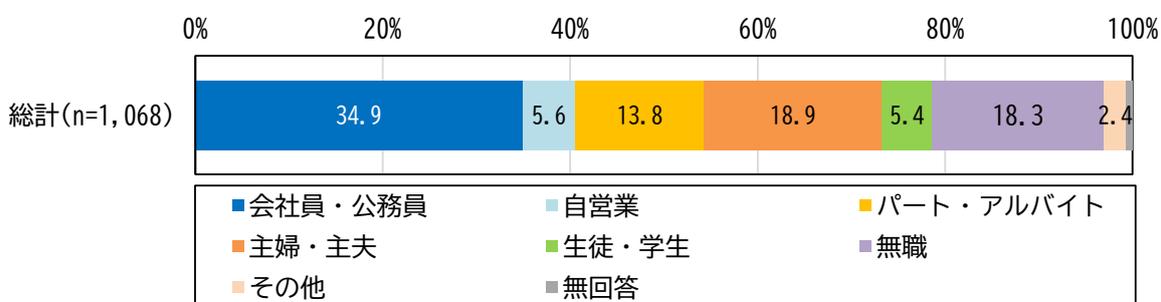


図 回答者の職業

・外出時の困難さ

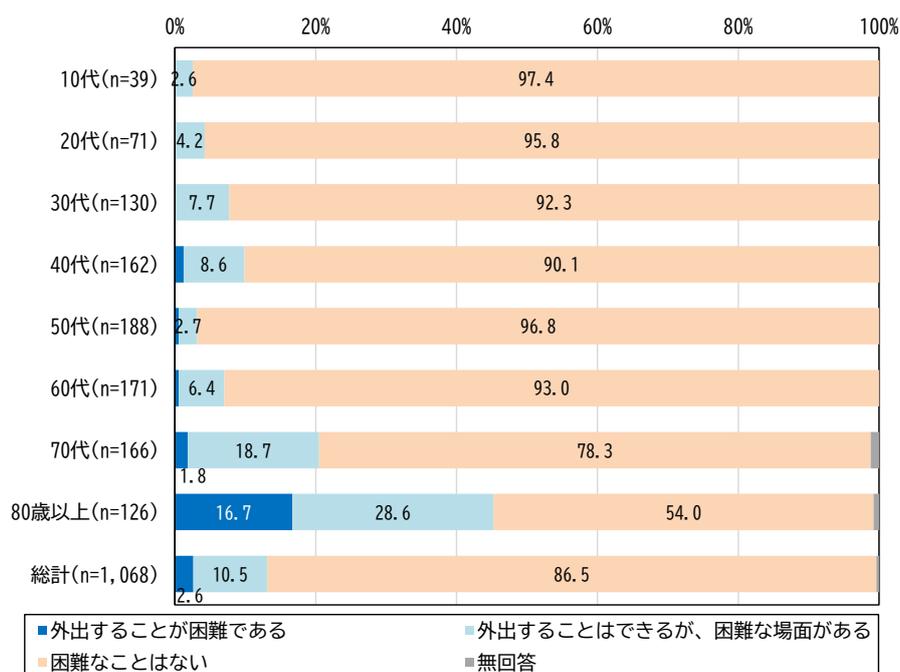


図 外出時の困難さ

・外出時の休まず歩ける距離

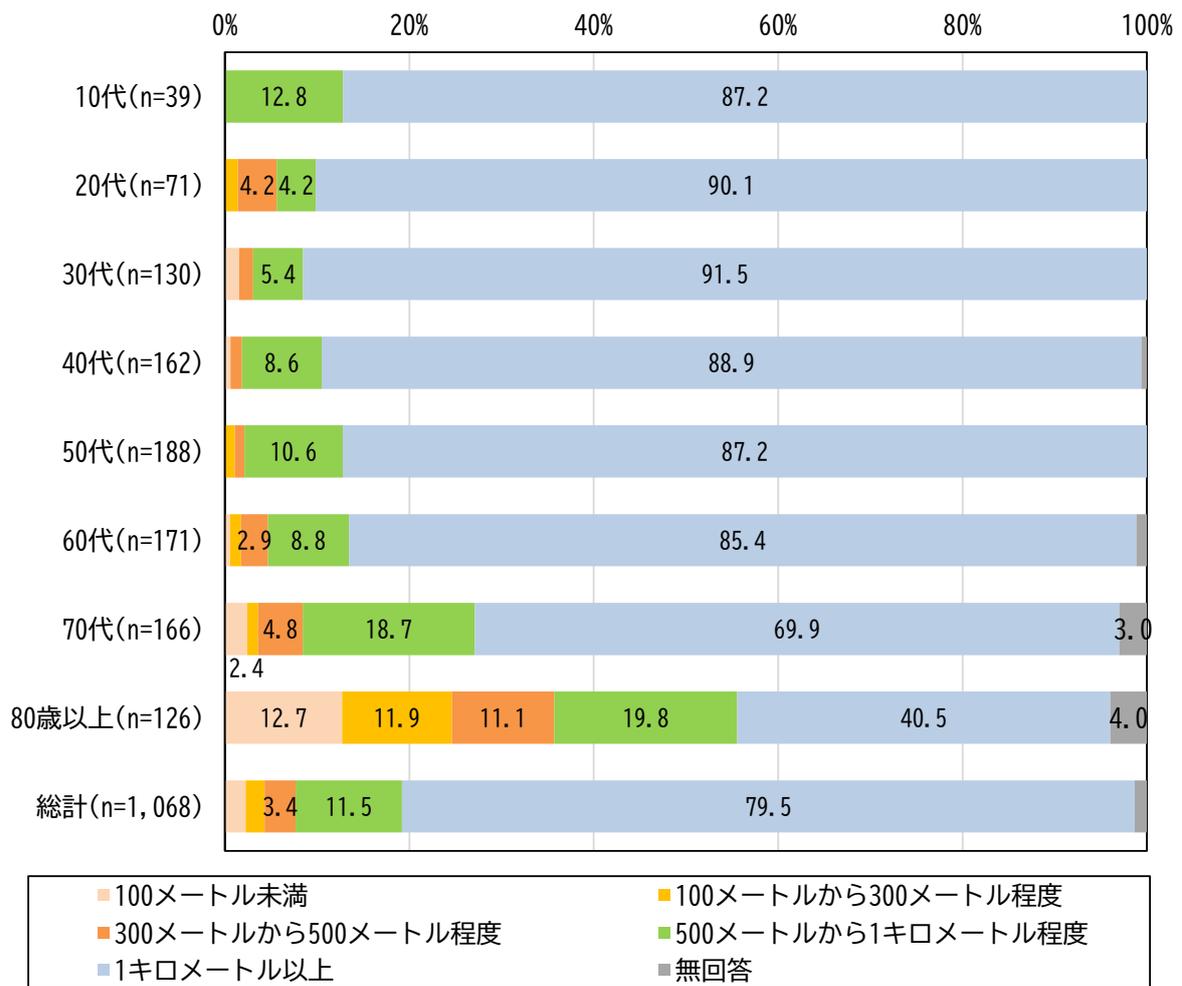
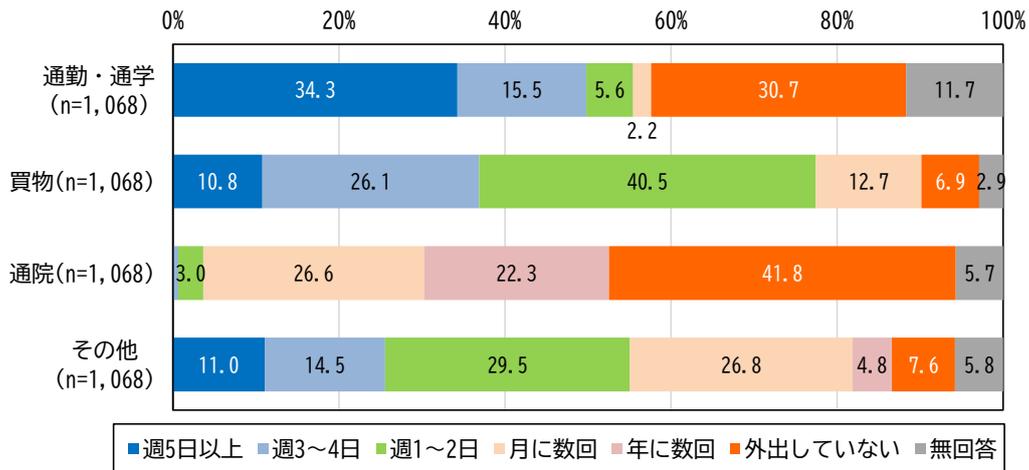


図 外出時に休まず歩ける距離

(2) 移動の目的



①通勤・通学

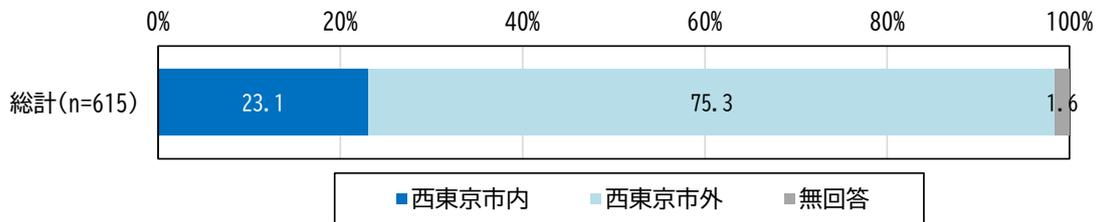


図 通勤・通学先

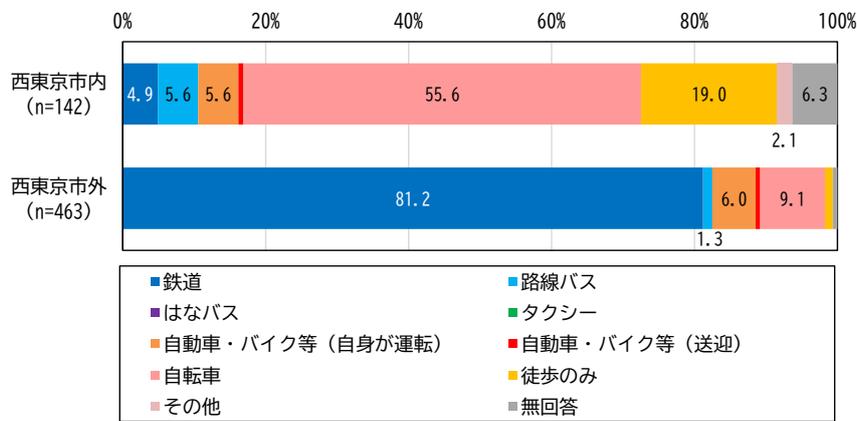


図 通勤・通学先までの移動手段

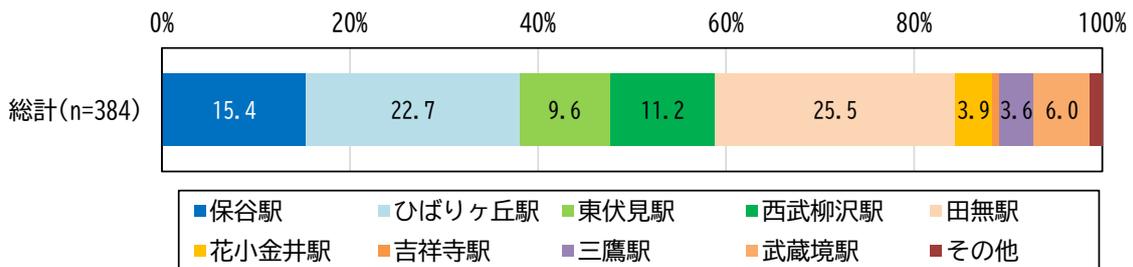


図 通勤・通学での鉄道利用者の乗車駅

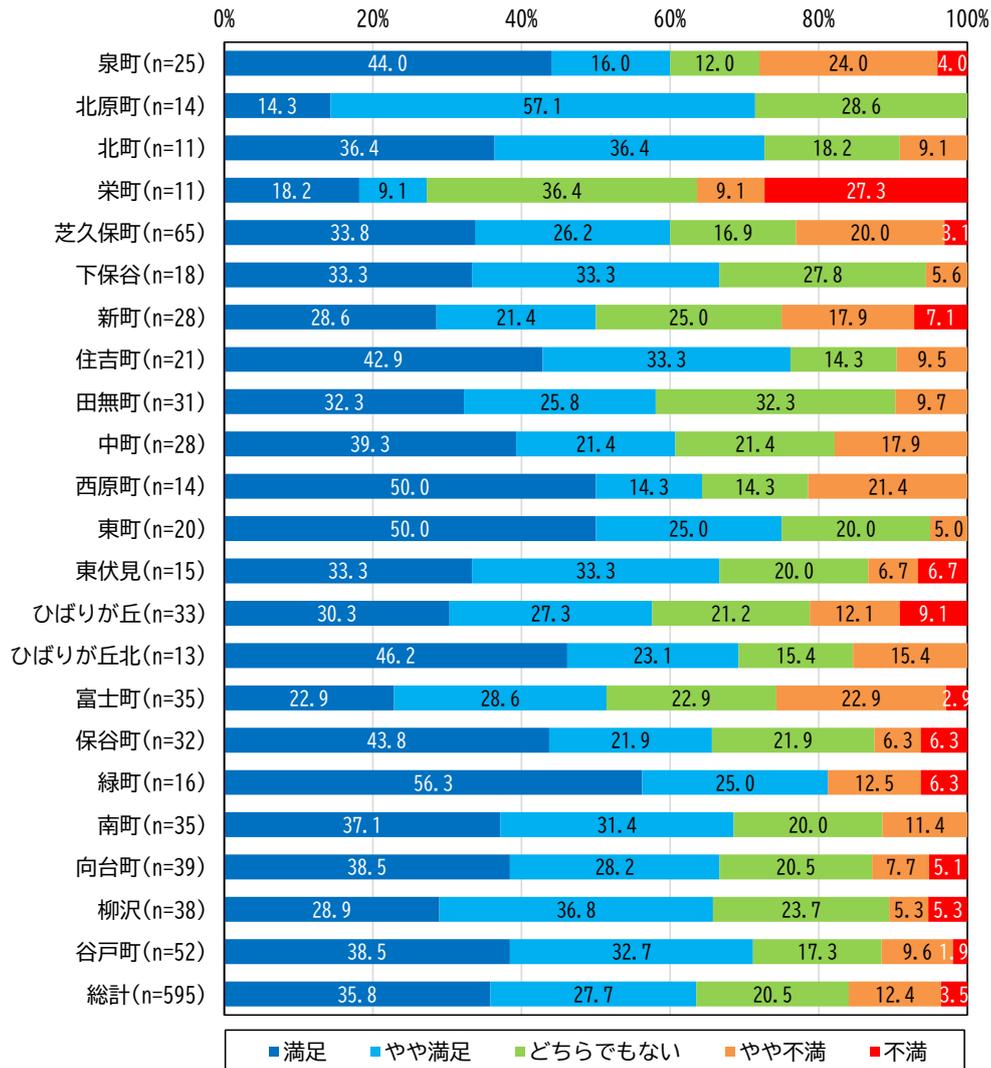


図 通勤・通学の移動手段に対する満足度（居住地別）

・具体的な困りごととしては、鉄道の混雑、バスの遅延や本数の少なさ、道路・歩道の狭さ・危険性が挙げられています。

※不明除く

②日常の買物

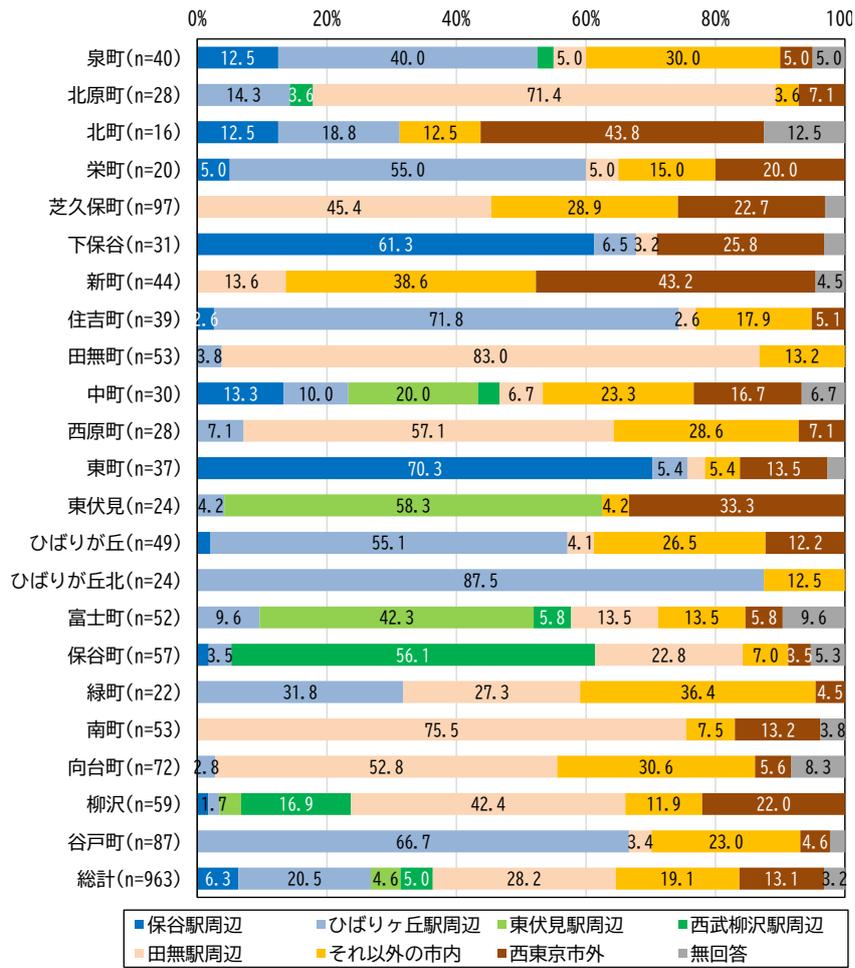


図 買物先【市内の駅周辺】(居住地別)

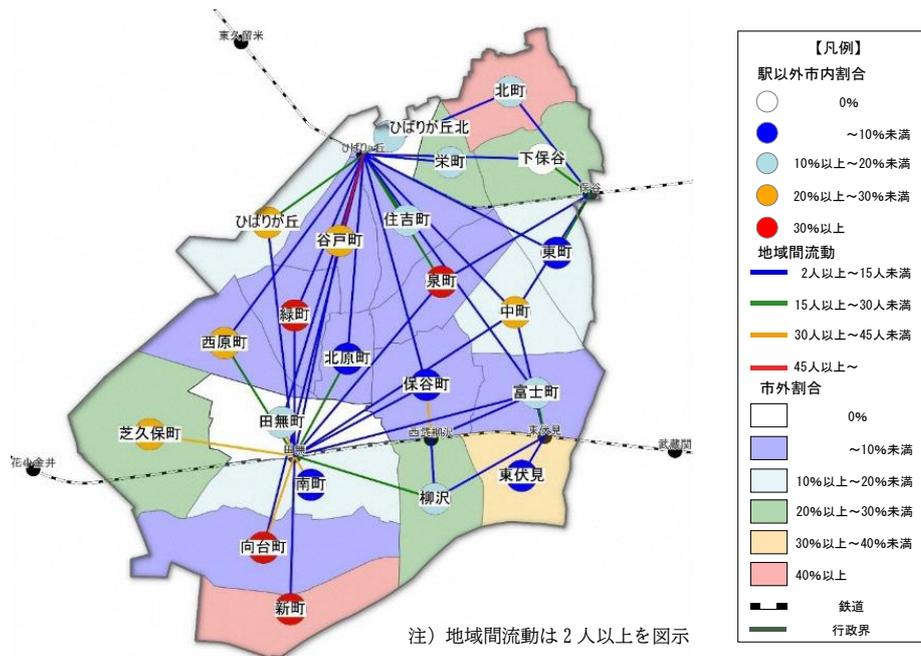
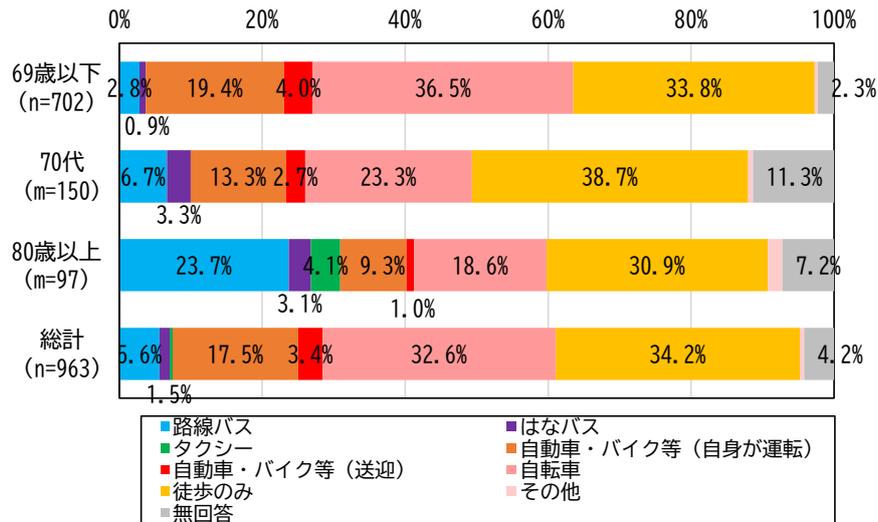


図 買物の地域間流動



注) 鉄道利用者は駅までの移動手段、その他は買物先までの移動手段を示している。【左】

図 年代別の買物先までの移動手段【左】

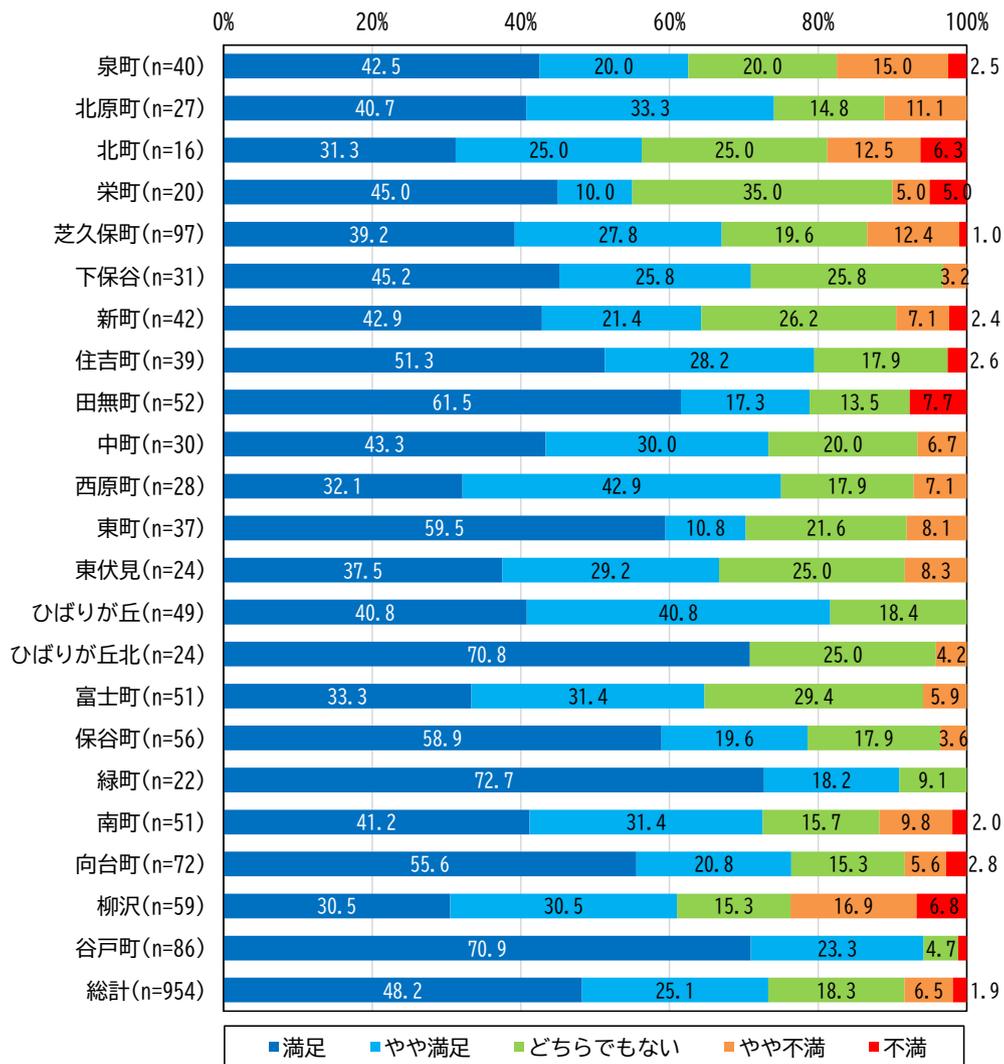
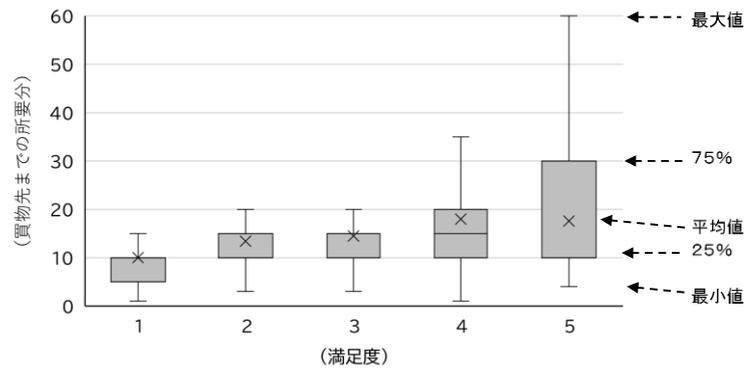


図 買物の移動手段に対する満足度



満足度 1 : 満足 2 : やや満足 3 : どちらでもない 4 : やや不満 5 : 不満

図 自宅から買物先までの所要時間と買物の移動手段の満足度との関係

- ・具体的な困りごととして、荷物を持って帰宅する困難さ、道路・歩道の狭さ・危険性、雨天時利用の不便さが挙げられています。

③通院

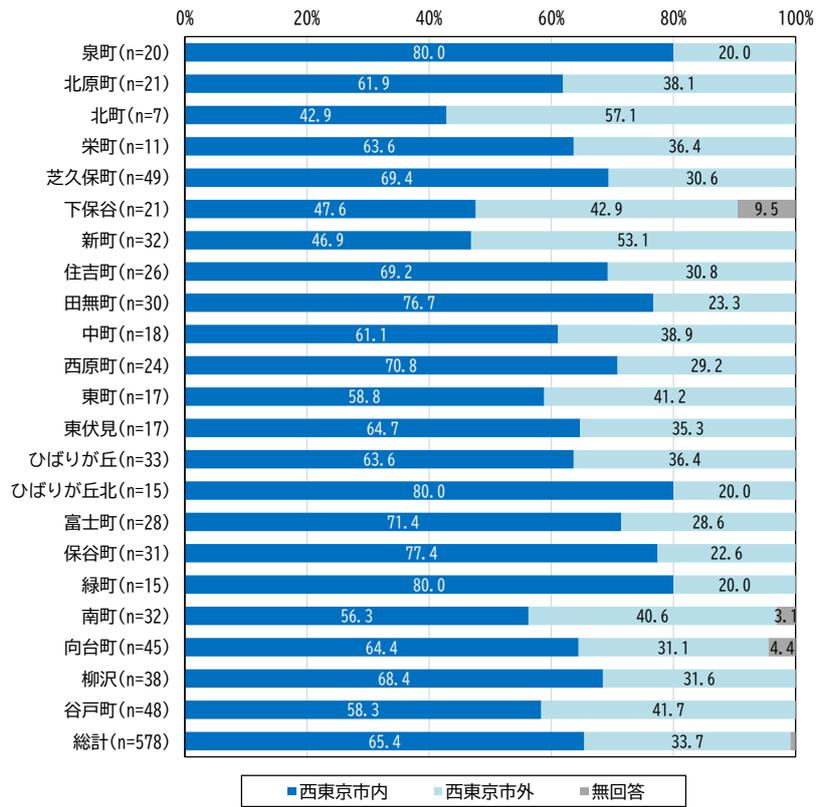


図 通院先 (居住地別)

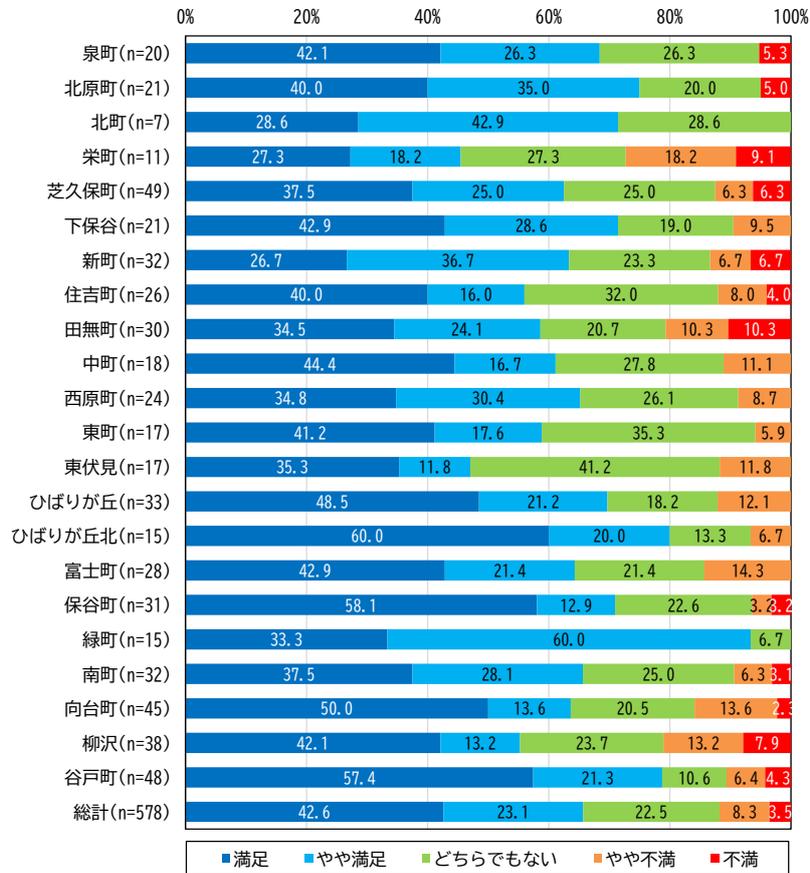


図 通院の移動手段に対する満足度

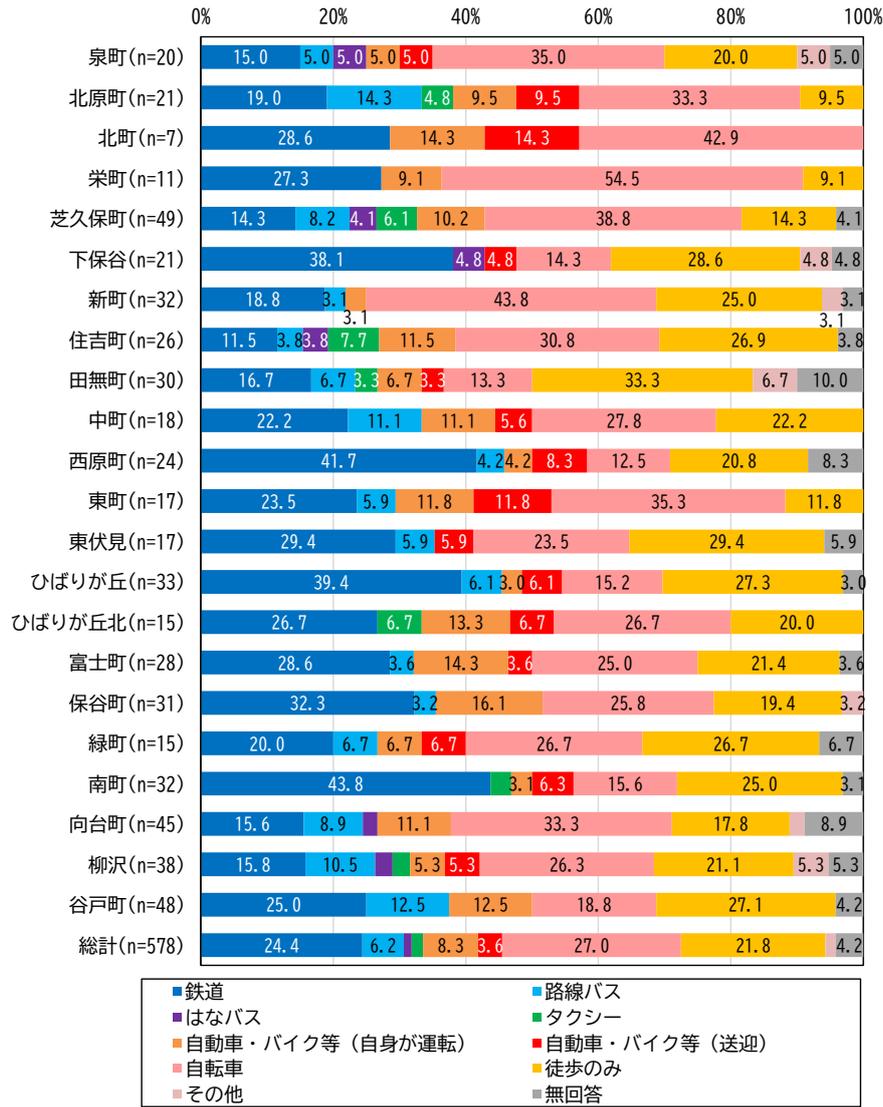


図 居住地別の通院先までの移動手段

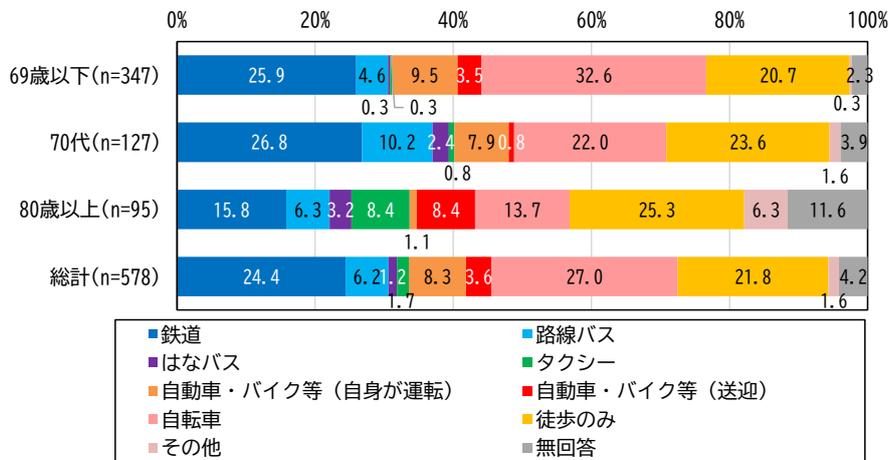
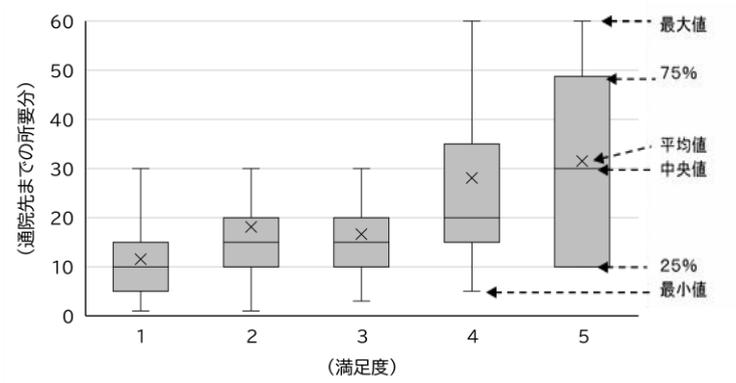


図 年代別の通院先までの移動手段



満足度 1:満足 2:やや満足 3:どちらでもない 4:やや不満 5:不満

図 自宅から通院先までの所要時間と通院の移動手段の満足度との関係【通院先が市内】

- ・具体的な困りごととして、病院へ直通する手段の要望やバス本数の少なさが挙げられています。

④その他の目的

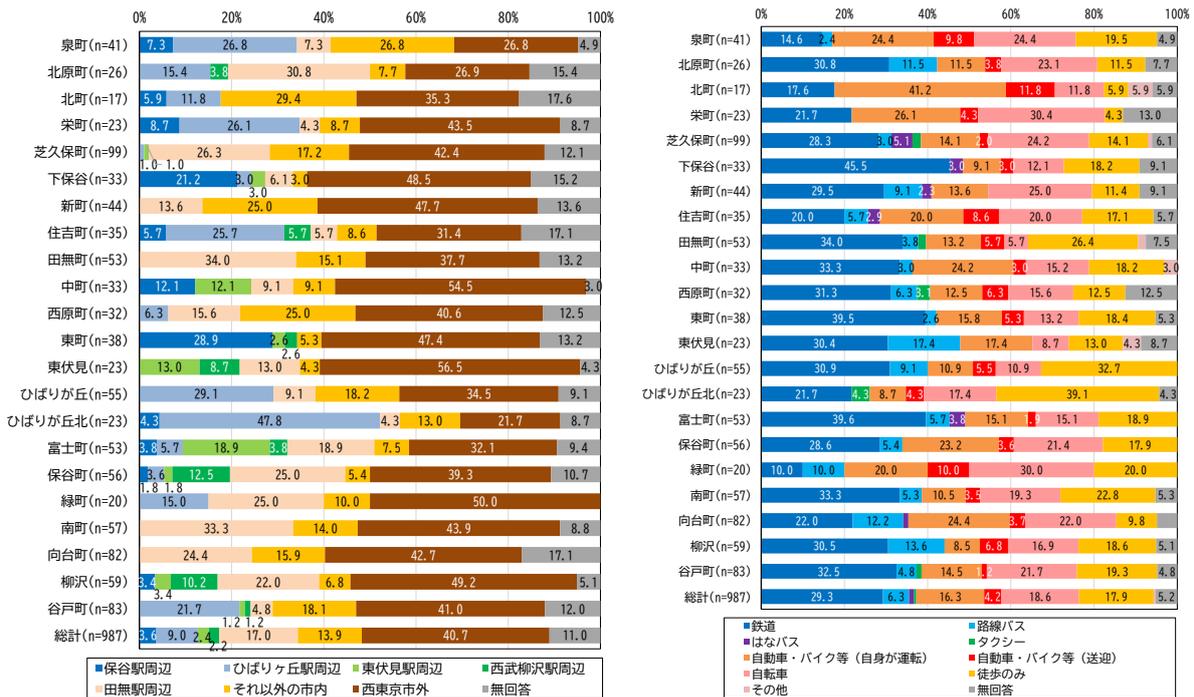


図 その他目的の外出先【市内の駅周辺】(居住地別)【左】と居住地別のその他目的の外出先までの移動手段【右】

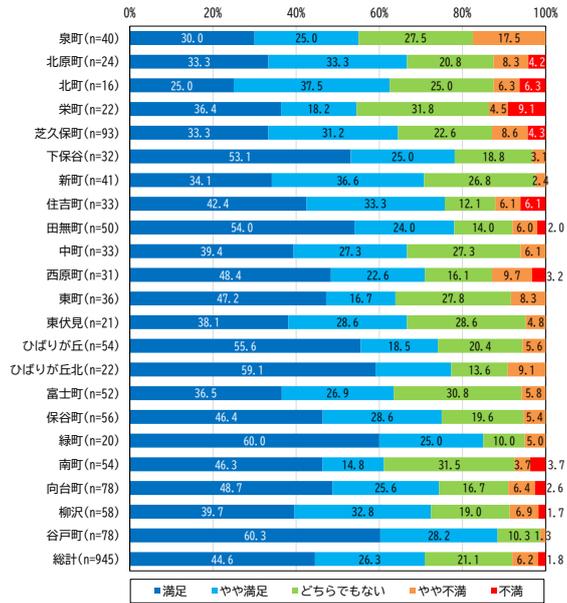


図 その他目的の移動手段に対する満足度

・具体的な困りごととして、道路、歩道の狭さと危険性、雨天時利用の不便さが挙げられています。

(3) 移動手段

① 鉄道

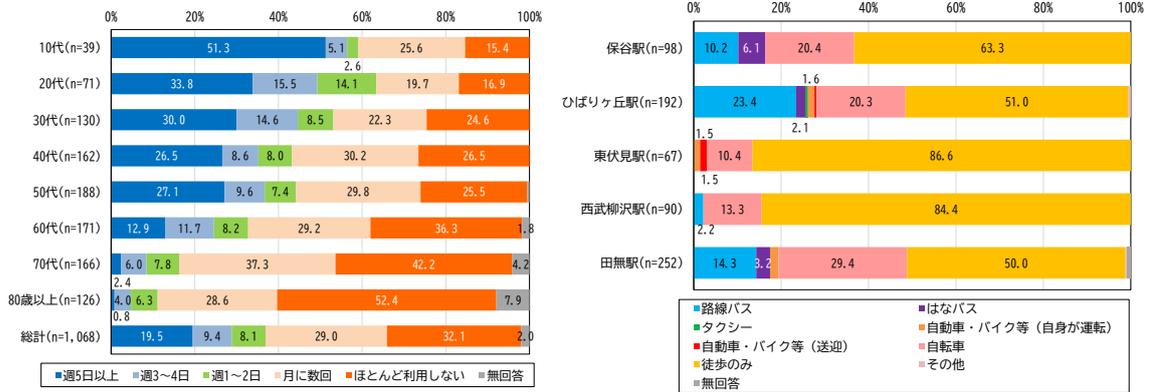


図 鉄道の利用頻度（年代別）【左】と駅までの移動手段（乗車駅別）【右】

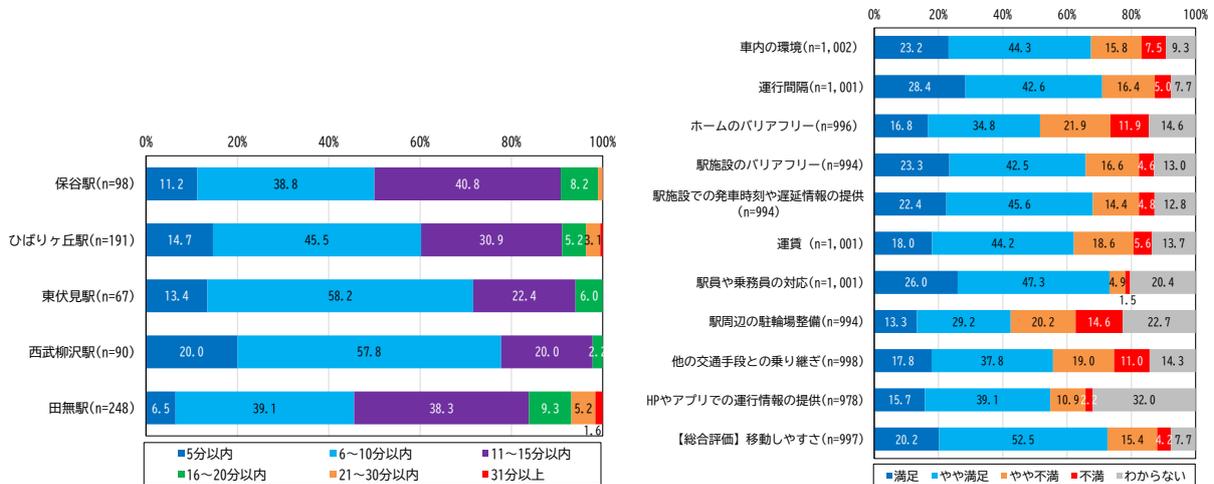


図 駅までの所要時間【左】と鉄道に関する満足度（非利用者を含む）【右】

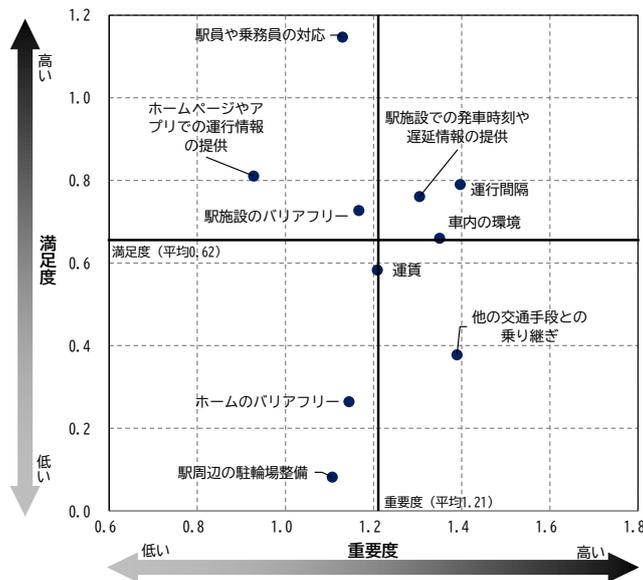


図 鉄道に関する満足度・重要度分析結果

②バス

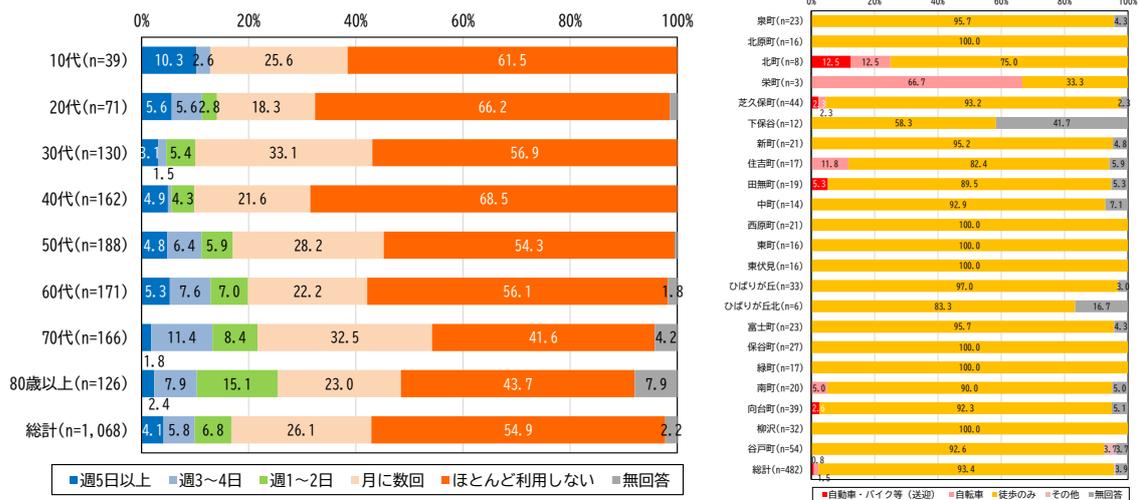


図 バスの利用頻度（年代別）【左】とバス停までの移動手段（居住地別）【右】

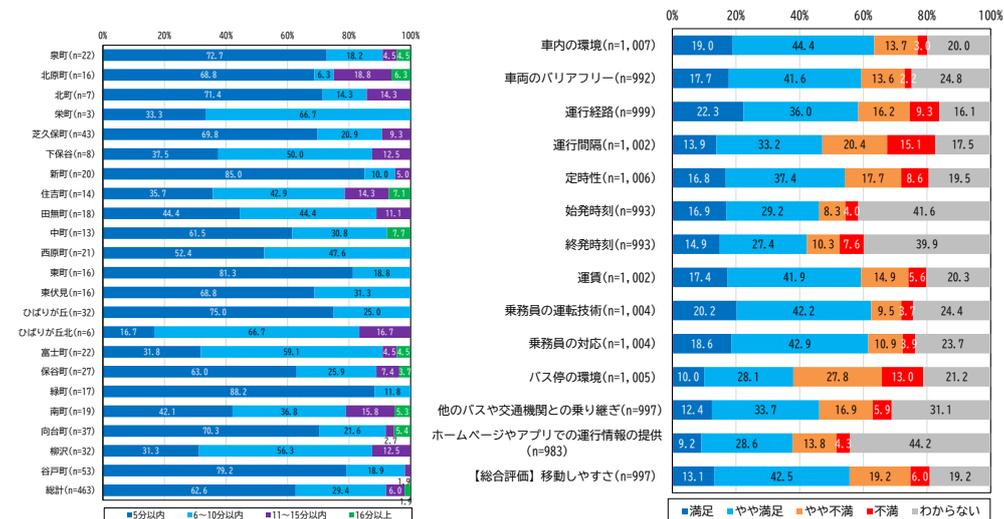


図 バス停までの所要時間【左】とバスに関する満足度（非利用者を含む）【右】

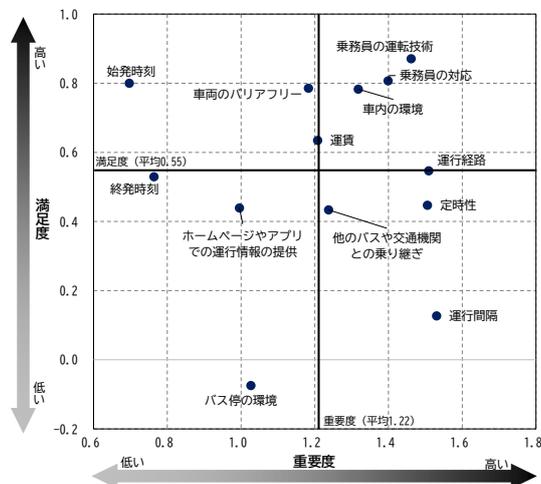


図 バスに関する満足度・重要度分析結果

③ タクシー

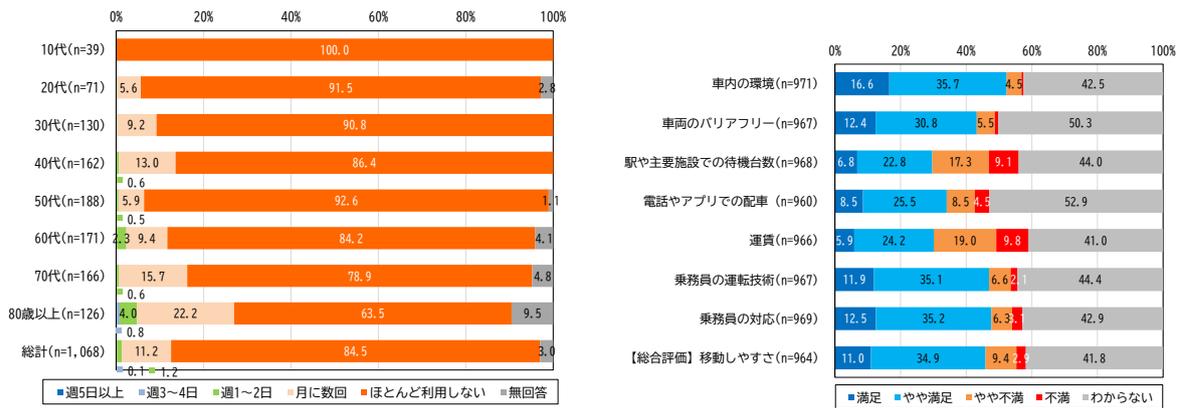


図 タクシーの利用頻度（年齢別）【左】とタクシーに関する満足度（非利用者を含む）【右】

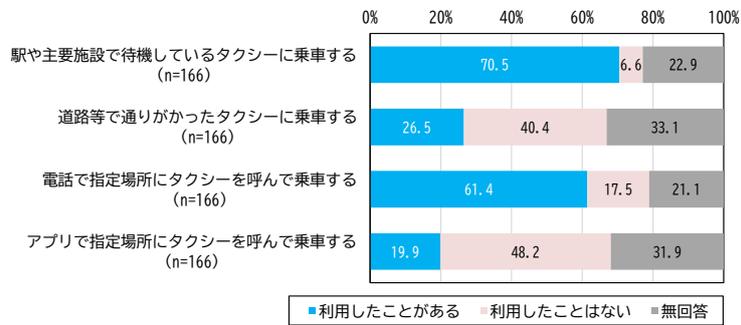


図 タクシーの利用方法

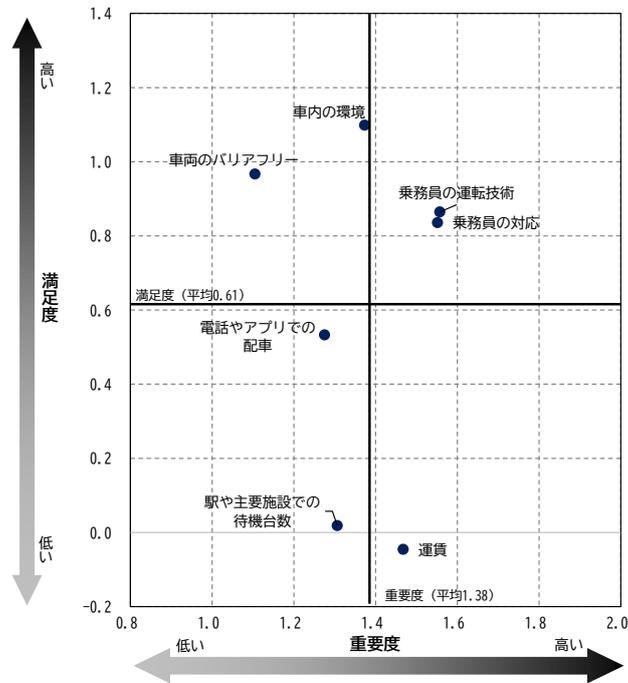


図 タクシーに関する満足度・重要度分析結果

④自動車等

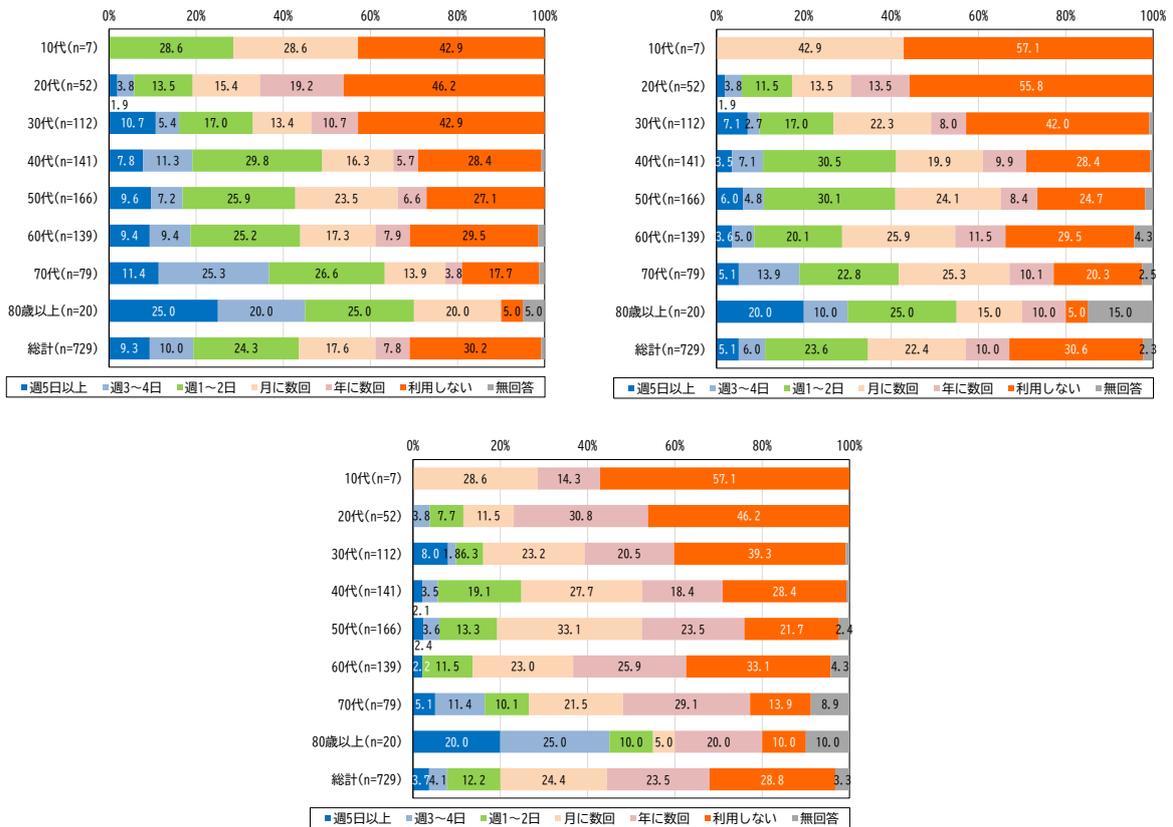


図 年齢別自動車等の利用頻度【目的地：西東京市内（左上）近隣市区（右上）その他（下）】

- ・自動車等を定期的に利用する方（週1～2日以上利用）で、バスやタクシーの利用が少ない方（月数回以下）のうち、80%を超える方が公共交通で代替することが可能としていますが、多くの方が自動車等の方が移動に適しているとしています。

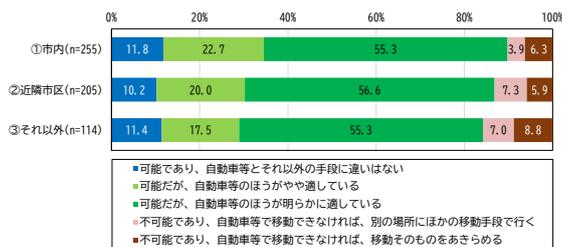


図 目的地別自動車等から他の手段への代替の可能性

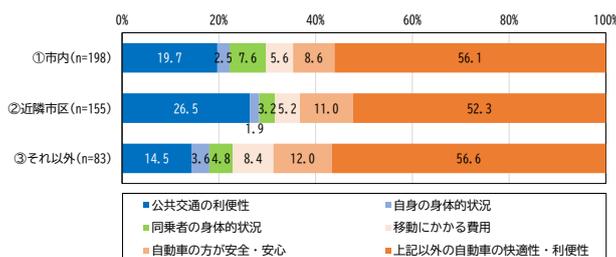


図 目的地別代替可能な方のうち自動車等が適している理由

・公共交通への転換が不可能とした人が不満を感じていることは、鉄道では駅周辺の駐輪場整備、他の交通手段との乗継、ホームのバリアフリー、バスでは運行間隔、バス停の環境、タクシーでは運賃、駅などでの待機台数が挙げられています。

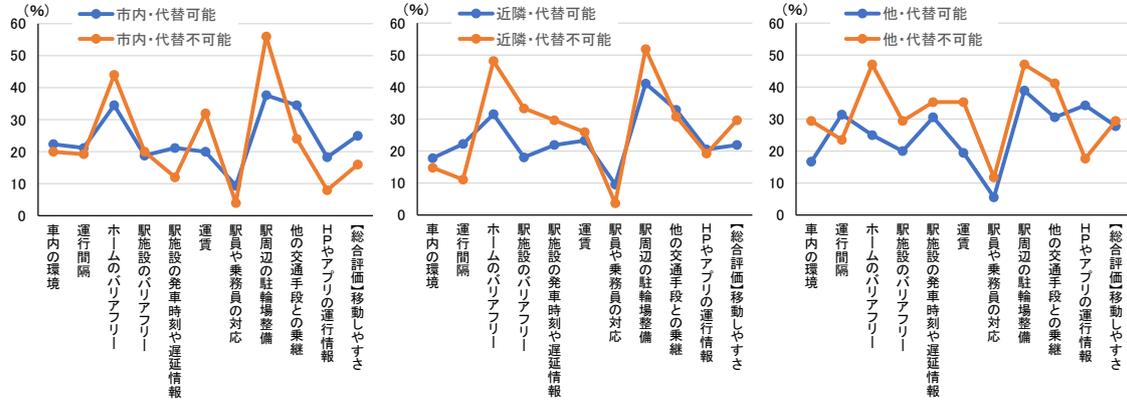


図 鉄道への不満割合（自動車等から他の手段へ代替可能・不可能別）

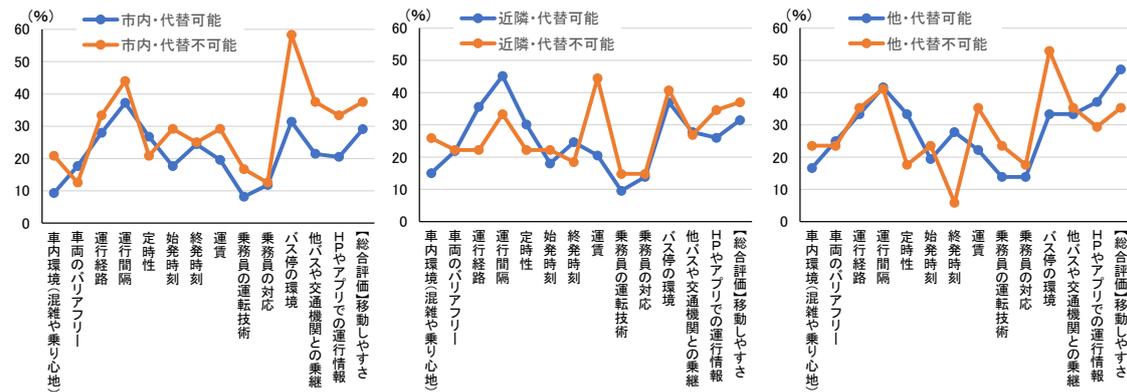


図 バスへの不満割合（自動車等から他の手段へ代替可能・不可能別）

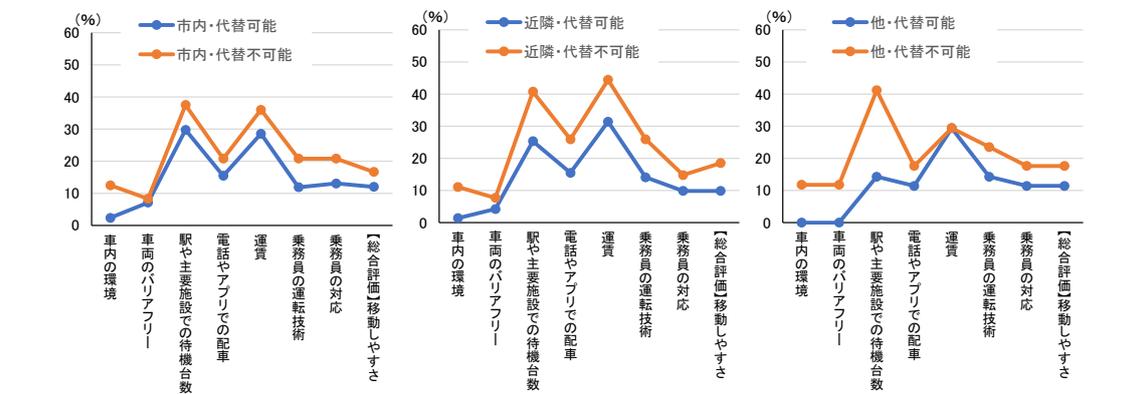


図 タクシーへの不満割合（自動車等から他の手段へ代替可能・不可能別）

⑤自転車

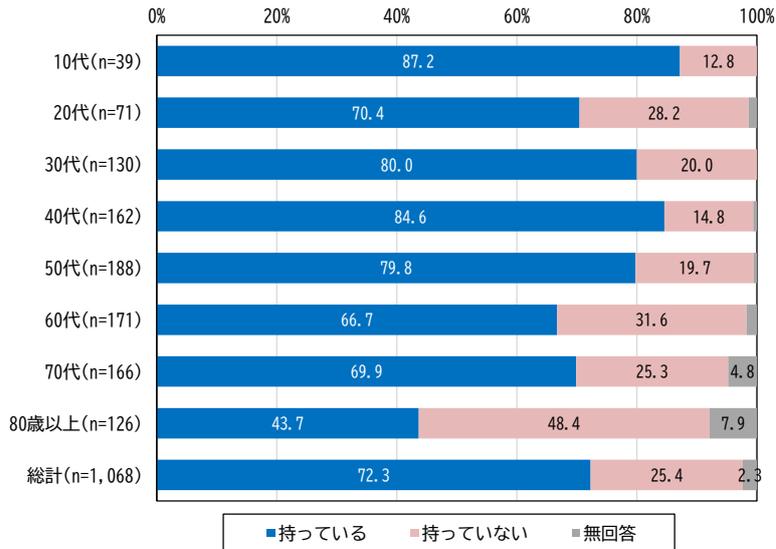


図 自転車保有状況（年齢別）

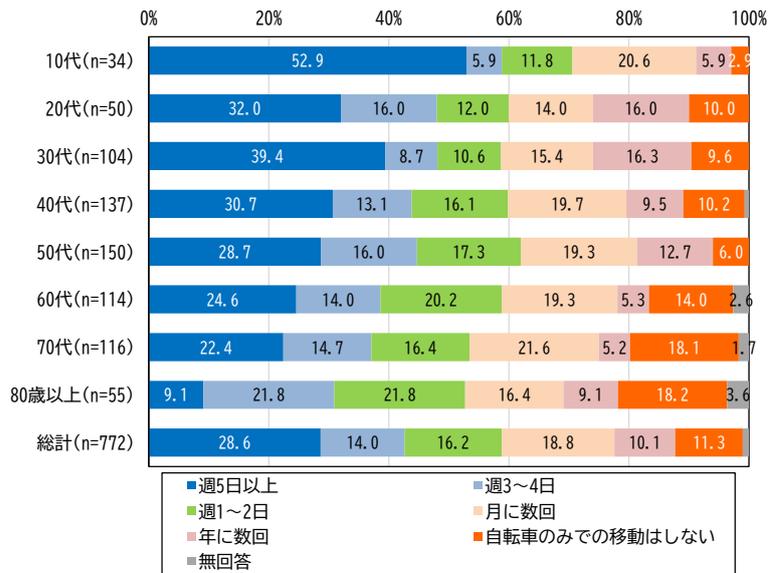


図 西東京市内・近隣市区への自転車利用頻度（年齢別）

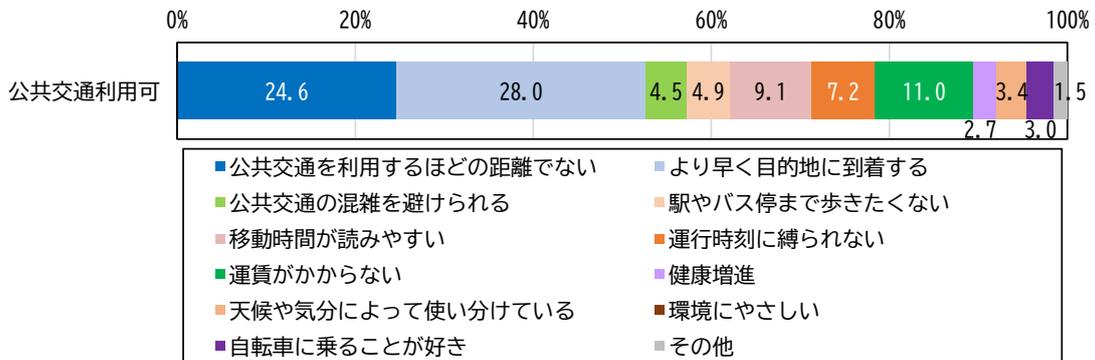


図 公共交通ではなく自転車を利用する理由（転換可能者）

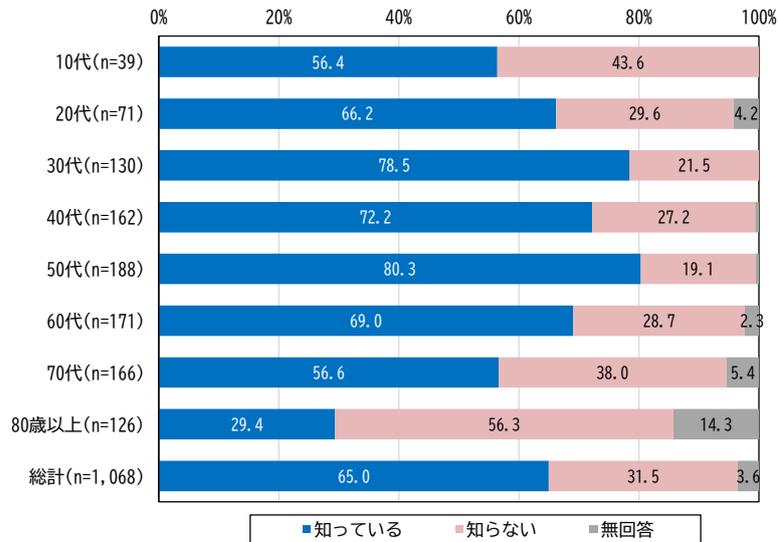


図 シェアサイクルの認知度（年齢別）

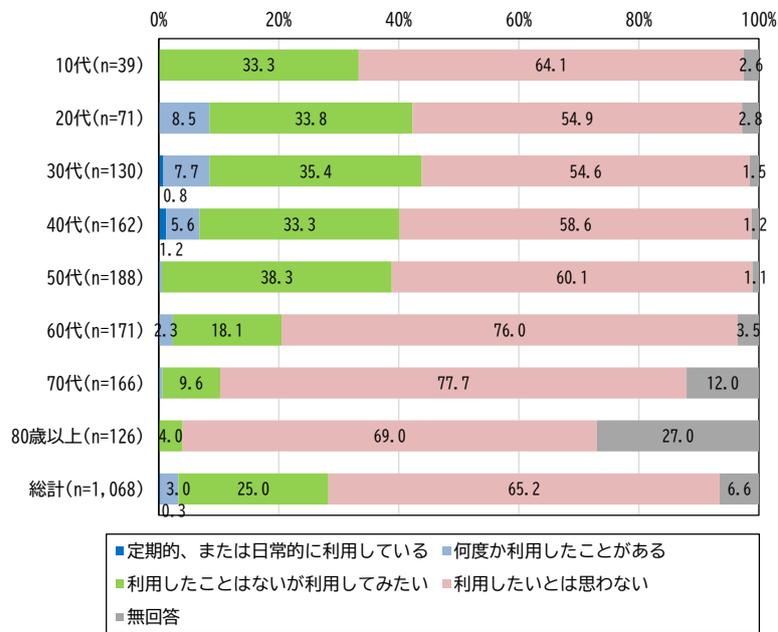


図 シェアサイクルの利用状況・意向（年齢別）

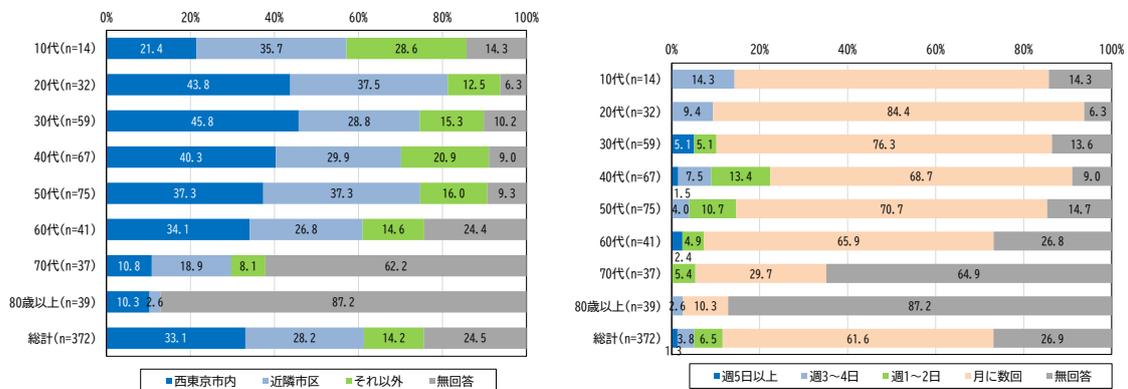


図 年齢別シェアサイクルの主な行先の場所【左】 利用頻度【右】

(4) 属性別の移動特性

① 高齢者

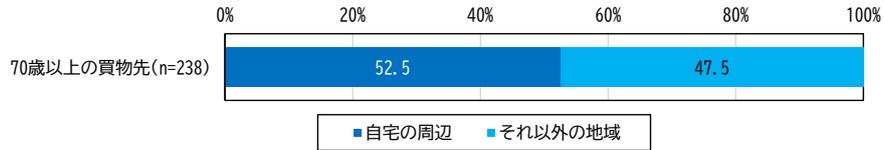


図 高齢者（70歳以上）の買物先

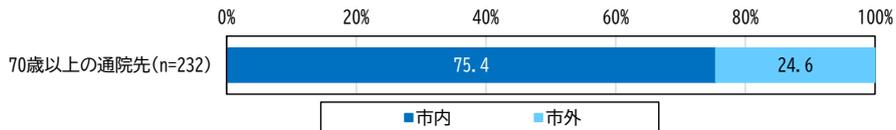


図 高齢者（70歳以上）の通院先

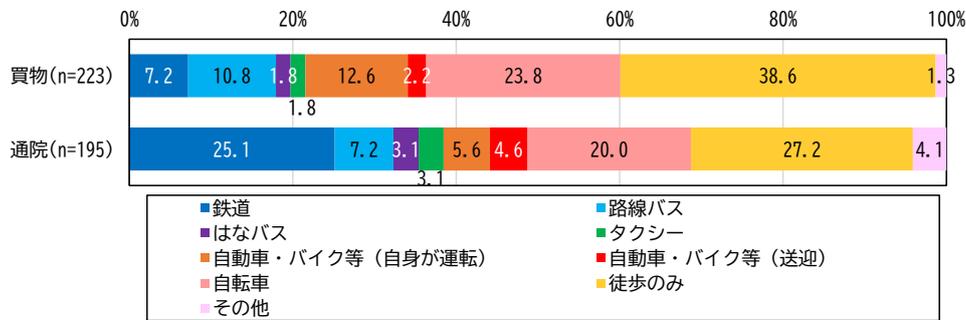


図 高齢者（70歳以上）の移動手段（買物、通院）

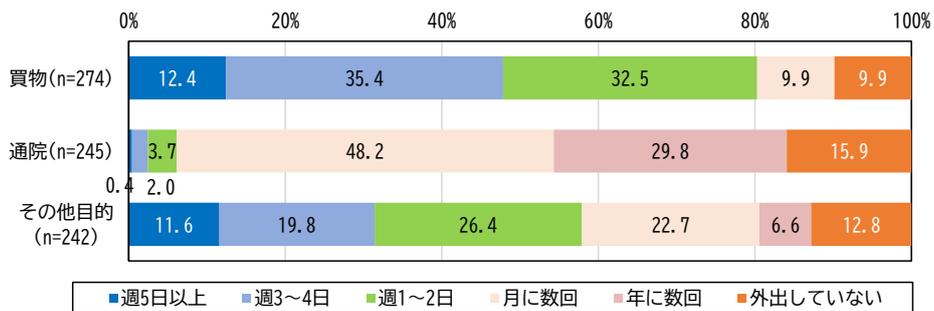


図 高齢者（70歳以上）の外出目的別頻度

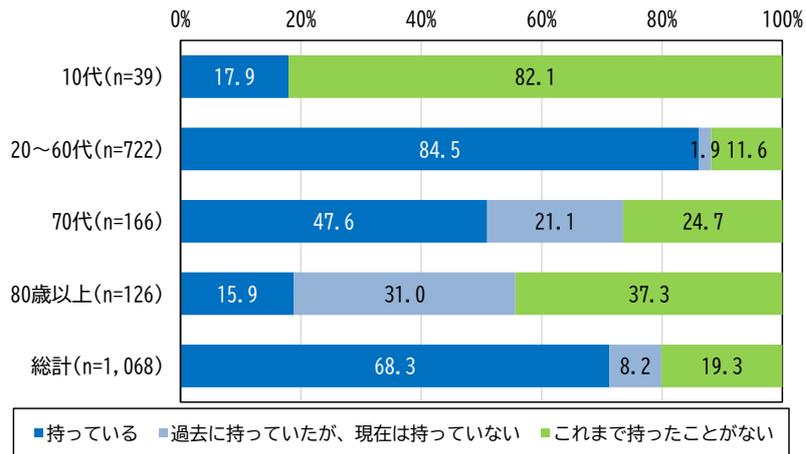


図 年代別・運転免許証の保有状況

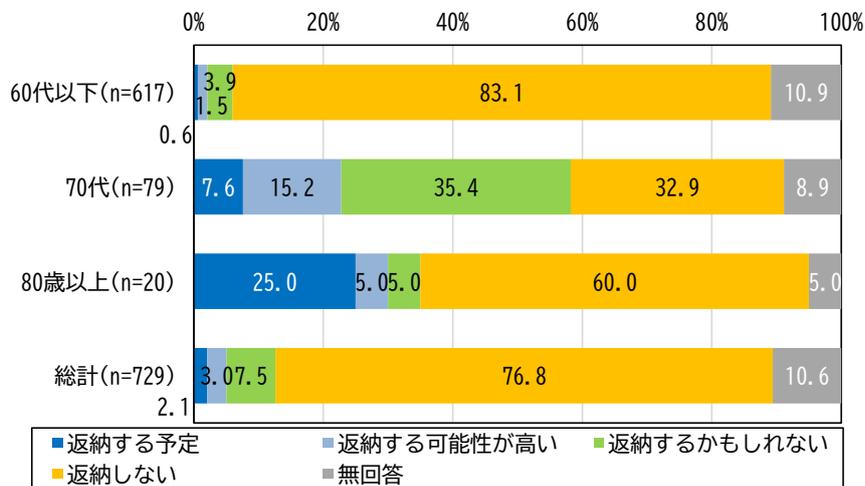


図 運転免許証の返納予定

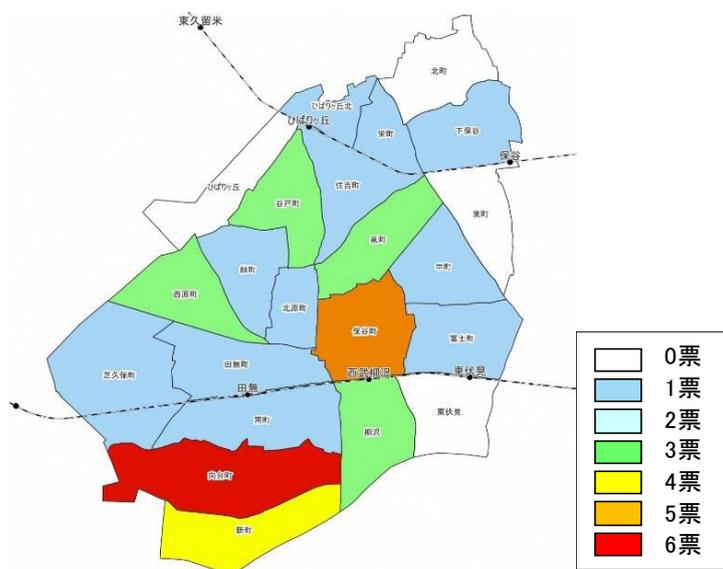


図 地域別の高齢者（70歳以上）の免許非返納者数

②外出に困難を感じている人

- ・具体的な困りごととして、買物では荷物を持って帰ることに負担、通院では病院へ行くバスがないことや、バス停と自宅・病院の間の歩行に負担を感じるなどが挙げられています。

③要介護者等との同居者

- ・70歳以上で、要介護者と同居し他に同居者がいない場合、買物で外出しない人が16.7%で、買物移動の満足度も低くなっています。

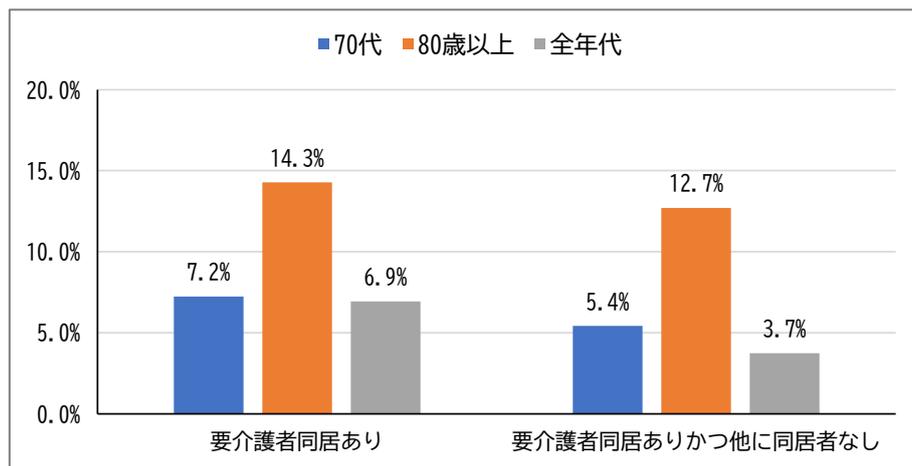


図 要介護者と同居している割合（年齢別）

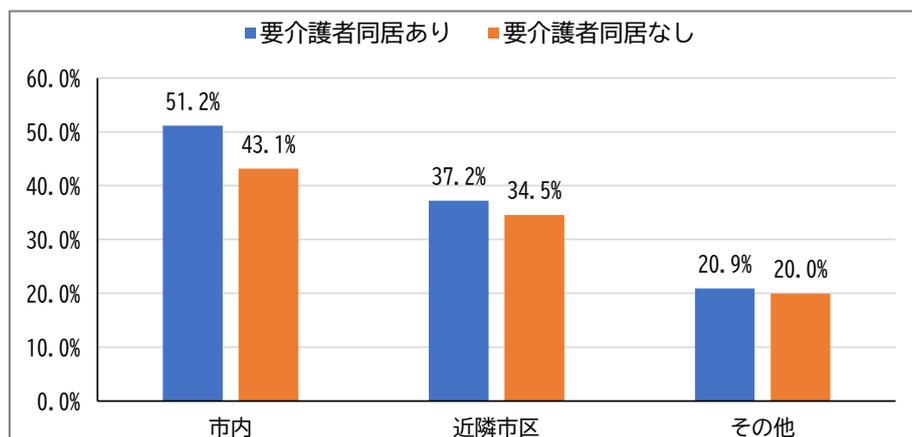


図 要介護者との同居有無別の自動車利用頻度（週1～2日以上）

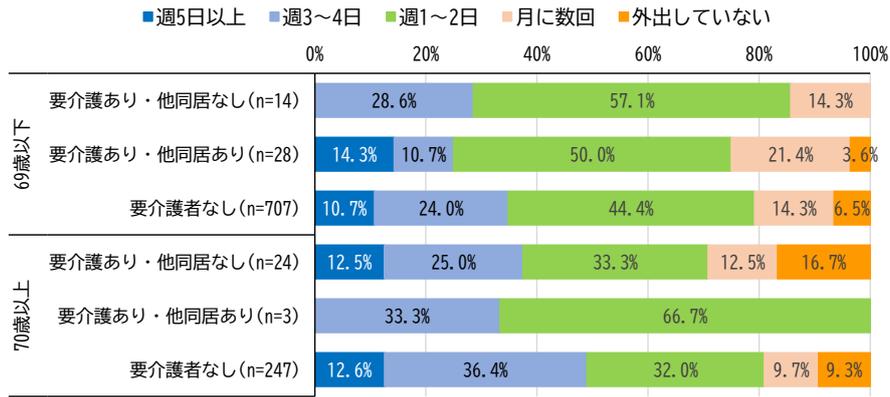


図 要介護者と同居者の買物外出頻度

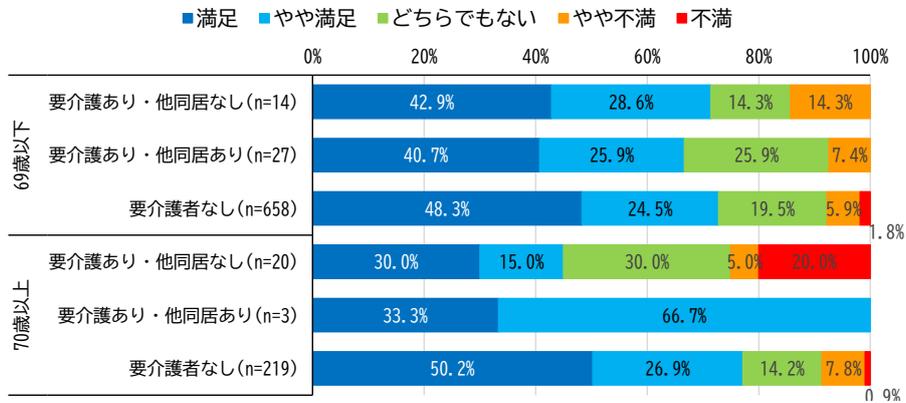
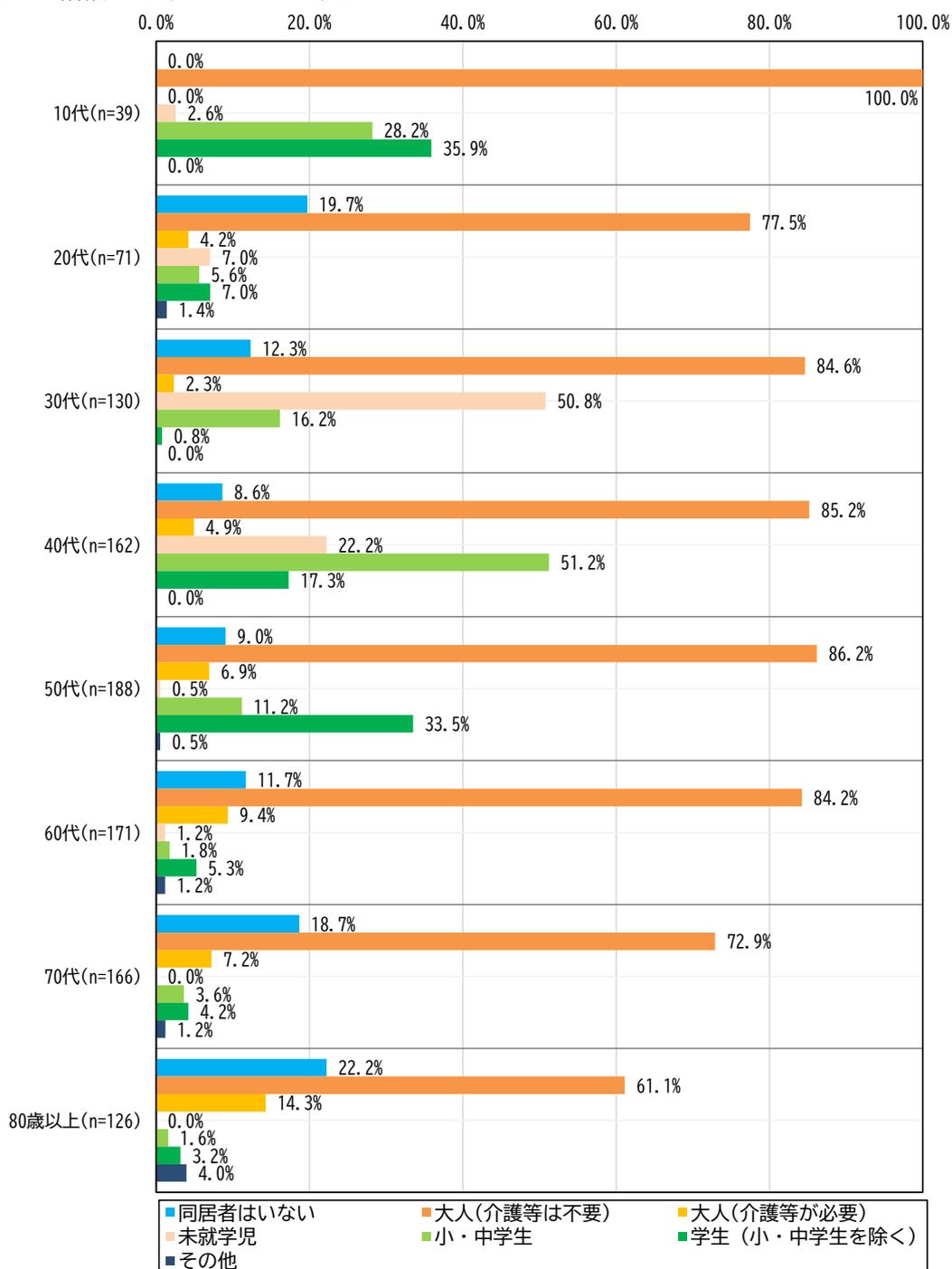


図 要介護者等との同居の有無と買物移動の満足度

・具体的な困りごととして、タクシー利用時の問題やバリアフリー化を望む声が挙げられています。

④未就学児との同居者

- ・未就学児と同居者は30代に多く40代も比較的多くなっています。
- ・未就学児と同居者の自動車利用は、市内・近隣市区の移動で非同居者よりも頻度が高くなっています。
- ・未就学児と同居者の外出時の困りごととして、保育園送迎の不便さや道路の狭さによる危険性への指摘が挙げられています。



※複数回答

図 年代別の同居者

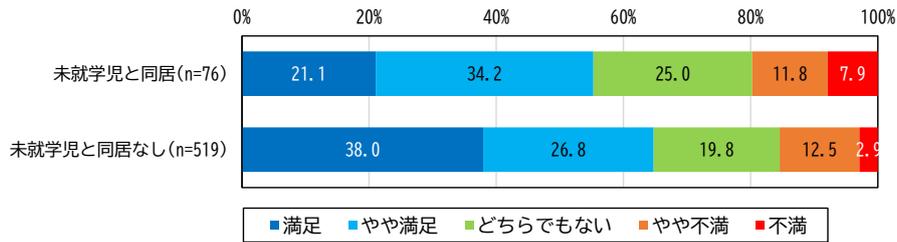


図 通勤における移動手段の満足度（未就学児との同居有無別）

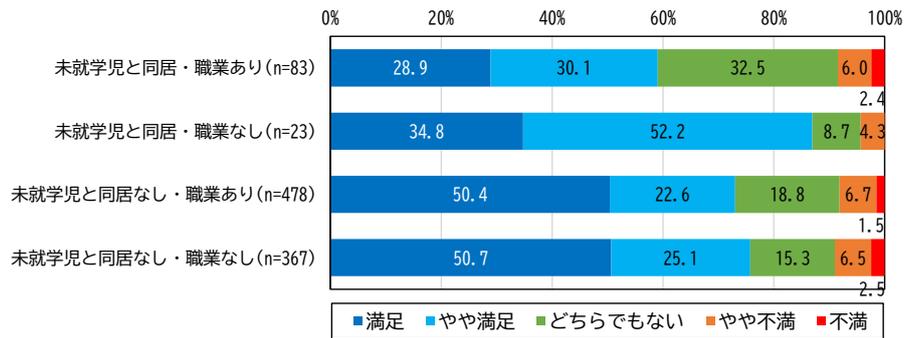


図 買物における移動手段の満足度（未就学児との同居有無別）

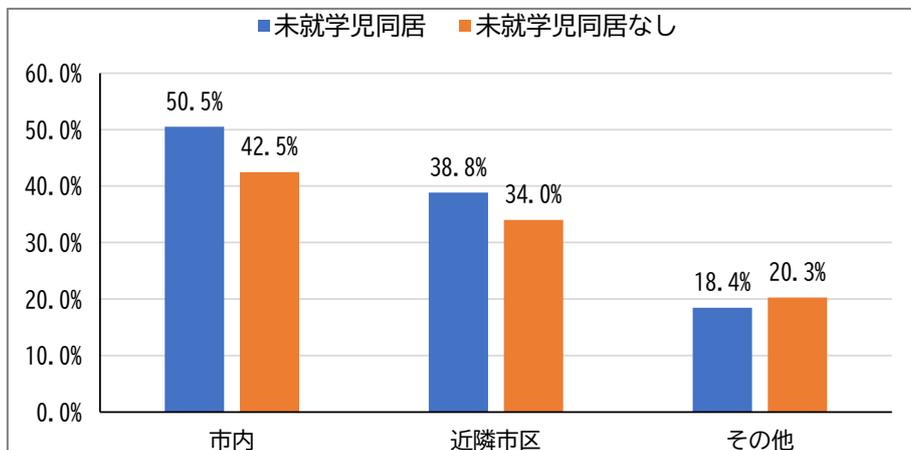


図 未就学児との同居有無別の自動車利用頻度（週1~2日以上）

(5) 市民の移動に対する意識

①交通環境に対する評価

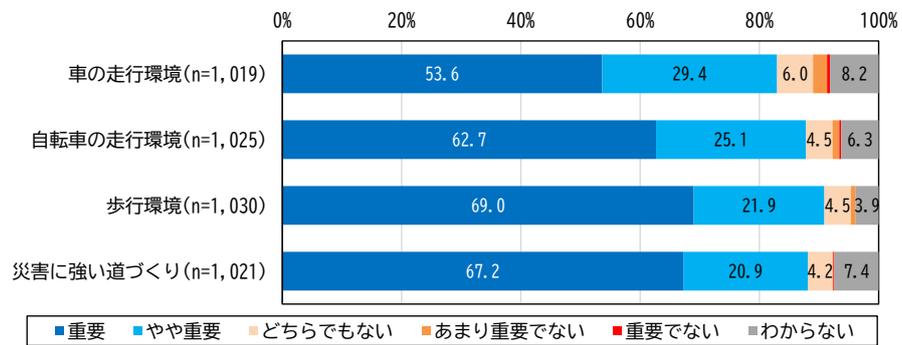


図 市内の交通環境の重要度

2-2. 中学生アンケート調査結果

(1) 回収結果

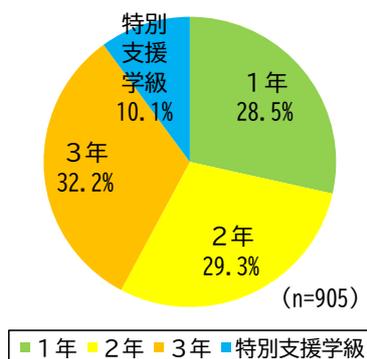


図 回収状況 (学年別)

(1) 公共交通利用時の困る点

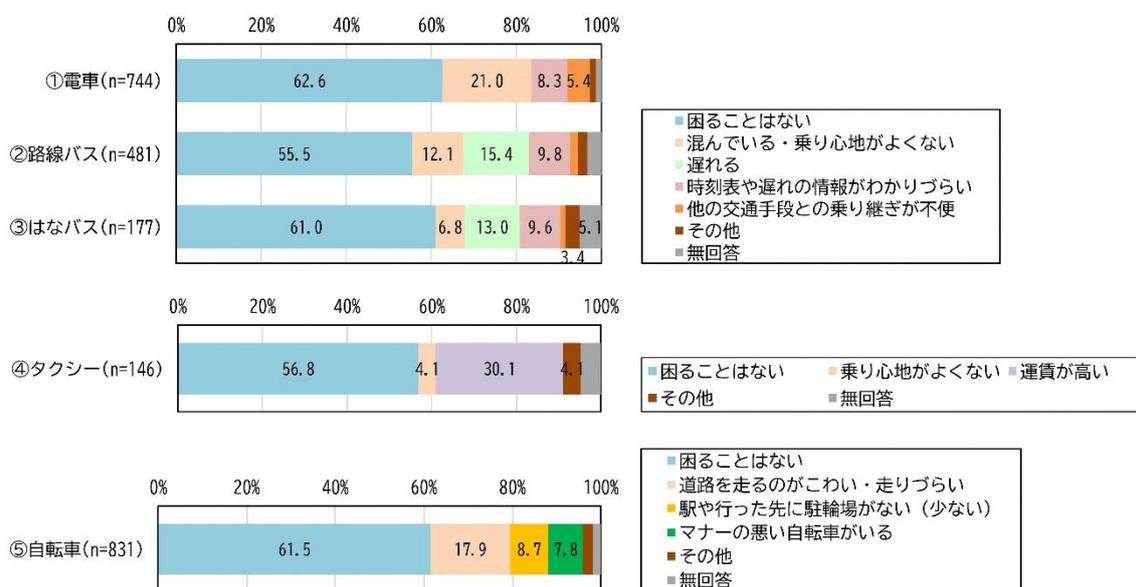


図 利用時の困る点

(2) 将来の自動車等の利用意向

・将来的に、車を運転したいとの意向は67.7%が抱いています。

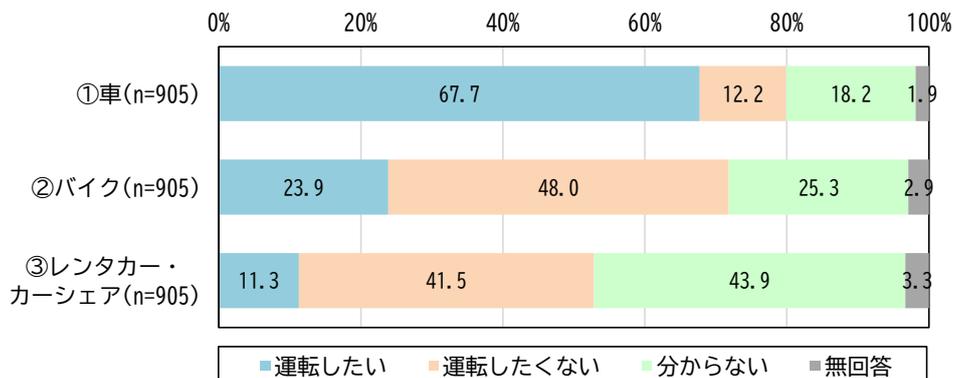


図 車 (自家用) 等の将来の利用意向

3. 現行計画の成果

(1) 指標の設定

①成果指標

計画目標の達成度の指標です。3～5年間隔で計測し、市民にわかりやすく達成度を的確に示す指標として以下のとおり設定しています。

表 現行計画で設定した成果指標

基本目標	指標	データ取得方法
1 安心して住み続け生活できる交通基盤の実現	①災害に強いまちづくりへの満足度 ②UDタクシー台数 ③交通空白地域人口	・アンケート調査 ・事業者データ ・バス路線位置、国勢調査人口
2 誰もが安全に移動できる交通環境の実現	①駅周辺歩行者、自転車交通事故件数 ②整備対象主要生活道路の歩行者、自転車事故件数 ③踏切事故件数	・警視庁所有データ
3 安全で利便性の高い駅周辺交通環境の実現	①駅前広場及び駅前広場アクセス道路が整備された駅（箇所）の乗降人員の市内全駅乗降人員に対する割合 ②拠点駅における満足度	・アンケート調査
4 将来都市構造を支える骨格交通ネットワークの実現	①代表道路（新青梅街道・青梅街道、武蔵境通り）における旅行速度	・道路交通センサス ・旅行速度調査
5 マイカーに過度に頼らず移動しやすい低炭素な交通環境の実現	①公共交通利用者数 ②自転車空間確保区間走行台キロ	・事業者データ ・自転車交通量調査

②モニタリング指標

事業の進捗状況を把握する指標です。年1回計測するデータ収集が容易な指標として以下のとおり設定しています。

表 現行計画で設定したモニタリング指標

基本目標	基本方針	指標
1 安心して住み続け生活できる交通基盤の実現	1 防災・減災に効果的な都市計画道路の重点的整備	①整備対象道路計画に対する事業着手、整備完了延長割合
	2 まちづくり・建築行政と連携した生活道路の空間確保の推進	①生活道路整備の制度設計 ②上記制度の活用件数
	3 移動制約者の外出支援策の推進	①UD導入促進策の実現状況 ②交通空白地域面積
2 誰もが安全に移動できる交通環境の実現	4 駅周辺の安全な歩行空間確保の推進	①バリアフリー計画策定駅数 ②上記での事業実現状況 ③自転車利用ルール・マナー策実施状況
	5 都市計画道路を補完する道路の交通環境改善の推進	①整備対象生活道路の事業着手、整備完了の延長割合 ②整備対象地区の実施箇所割合
	6 生活交通が主な踏切の安全対策の推進	①対象踏切の事業実施箇所割合
3 安全で利便性の高い駅周辺交通環境の実現	7 未整備の駅前広場及びアクセス道路の整備	①事業着手割合 ②事業完了割合
	8 拠点駅における総合交通環境改善の推進	①各拠点駅ごとの事業実施状況
4 将来都市構造を支える骨格交通ネットワークの実現	9 骨格的幹線道路の効率的・効果的整備	①対象都市計画道路の事業着手延長割合 ②対象都市計画道路の事業完了延長割合
	10 幹線的バス路線の交通円滑化・交通安全対策の実施	①駅前広場の動線改善箇所 ②バスベイ整備箇所数
5 マイカーに過度に頼らず移動しやすい低炭素な交通環境の実現	11 バス交通の利便性の向上	①バス運行情報提供実施状況 ②バス停のベンチ・上屋設置箇所数 ③バス停ポール統一箇所数 ④コミュニティバスの見直し実施状況 ⑤乗継ぎ利便性の改善策実施状況 ⑥バス利用普及啓発策の実施状況
	12 歩行者・自転車空間の計画的整備推進	①新規整備都市計画道路の自転車空間設置割合 ②モデル路線の整備延長 ③整備済み都市計画道路の自転車空間設置割合 ④自転車利用に関するサイン整備箇所数

(2) 公共交通に関わる事項の達成状況と評価（現行計画の評価指標の計測結果）

基本目標	基本方針	モニタリング指標							成果指標											
		指標	実施項目			平成25年度 【計画策定時】	平成30年度	令和4年度	指標	平成25年度 【計画策定時】	平成30年度		最新							
1 安心して住み続け生活できる交通基盤の実現	1 防災・減災に効果的な都市計画道路の重点的整備	①整備対象道路計画に対する事業着手、整備完了延長割合	骨格防災軸の整備予定 路線区間 主要延焼遮断帯	西3・3・3（西3・4・8以西）	未着手	未着手	未着手	①災害に強いみちづくりへの満足度	6.2%	整備未完了のため評価しない		18.0%								
				西3・2・6（西3・4・11以南）	整備済	整備済	整備済													
				西3・2・6（西3・4・11以北）	事業中	事業中	事業中													
				西3・3・14（西3・2・6以西）	未着手	未着手	事業中													
				西3・3・14（西3・2・6以東）	事業中	事業中	事業中													
				西3・5・4（新青梅街道）	整備済	整備済	整備済													
	2 まちづくり・建築行政と連携した生活道路の空間確保の推進	①生活道路整備の制度設計 ②上記制度の活用件数	-			-	-	-												
			①UD導入促進策の実現状況	UD導入促進策	・ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業計画			未策定	平成26～28年度まで策定済	-	②UDタクシー台数 (ジャパンタクシー含む) ※市内タクシー会社ヒアリング	2台	12台	↗	36台	↗				
					・福祉車両導入促進事業計画			-	平成29年度策定済	-										
			3 移動制約者の外出支援策の推進	②交通空白地域人口	鉄道駅300m圏内			9.0%	9.2%	9.0%	③交通空白地域人口	2.0%	1.6%	↘	2.1%	↘				
鉄道駅300m圏外かつバス300m圏内					81.1%	82.4%	82.2%													
			公共交通空白地域			2.0%	1.6%	2.1%												
			公共交通不便地域			7.9%	6.8%	6.7%												
2 誰もが安全に移動できる交通環境の実現	4 駅周辺の安全な歩行空間確保の推進	①バリアフリー計画策定駅数 ②上記での事業実現状況	バリアフリー化の現状	駅名	田無駅	北口	○	○	○	○	○	○	田無駅周辺	①駅周辺歩行者、自転車交通事故件数 ※監視HPより	3ページ参照	結果未公表のため、調整中 (今後評価予定)	資-33参照			
						南口	○	○	○	○	○	○								
					ひばりヶ丘駅	北口	-	-	-	○	○	-	○					○	○	ひばりヶ丘駅周辺
						南口	○	○	○	○	○	○	○					○		
					保谷駅	北口	○	○	○	○	○	○	○					○	保谷駅周辺	
						南口	○	○	○	○	○	○	○					○		
					東伏見駅	北口	○	○	○	○	○	○	○					○	東伏見駅周辺	
						南口	○	○	○	○	○	○	○					○		
					西武柳沢駅	北口	○	○	駅構内	○	○	駅構内	○					○	西武柳沢駅周辺	
						南口	○	○	○	○	○	○	○					○		
	3 自転車利用ルール・マナー策実施状況	③自転車利用ルール・マナー策実施状況	・自転車通行環境の整備（都市計画道路以外）			-	-	-												
			・自転車利用者に対する交通安全教育		・自転車教室、高齢者の乗い、新入学児童の乗い、市民まつり	○	○	○												
			・自転車駐車場の整備（駐輪場面横・許容可能台数、放置自転車等の撤去や変換数の推移を把握）			○	○	○												
			・放置自転車対策の推進			○	○	○												
			・放置自転車クリーンキャンペーンの実施			○	○	○												
5 都市計画道路を補完する道路の交通環境改善の推進	①整備対象生活道路の事業着手、整備完了の延長割合	・整備対象生活道路の事業着手、整備完了の延長割合			未着手	未着手	未着手	②整備対象主要生活道路の歩行者、自転車事故件数	0件 (平成25年)	0件 (平成26～30年)	→	0件 (平成26～令和4年11月)	→							
		②整備対象地区の実施箇所割合			一部事業中 (向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連道路事業)	一部事業中 (向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連道路事業)	一部事業中 (向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連道路整備事業)													
		①対象箇所の事業化			未着手	未着手	未着手													
		①対象箇所の事業実施箇所割合			未着手	未着手	未着手													
		②立体交差化の状況			未着手	未着手	未着手													
6 生活交通が主な踏切の安全対策の推進	①対象踏切の事業実施箇所割合	・対象踏切の事業化			未着手	未着手	未着手	③踏切事故件数 ※運輸安全委員会HPより	0件 (平成25年)	→	0件 (平成26～令和4年11月)	→								
		・立体交差化の状況			未着手	未着手	未着手													

基本目標	基本方針	モニタリング指標					成果指標							
		指標	実施項目	平成25年度 【計画策定時】	平成30年度	令和4年度	指標	平成25年度 【計画策定時】	平成30年度	最新				
3 安全で利便性の高い 駅周辺交通環境の 実現	7 未整備の駅前広場及び アクセス道路の整備	①事業着手割合 ②事業完了割合	駅名	田無駅南口	未着手	事業中 (駅前広場)	事業中 (駅前広場)	①駅前広場及び駅前広場にアクセス道路が整備された駅(箇所)の乗降人員の市内全駅乗降人員に対する割合 ※統計にしようきあり	61.9% (平成24年度)	62.3% (平成28年度)	↗	63.5% (令和2年度)	↗	
				西武柳沢駅北口	未着手	未着手	未着手							
	8 拠点駅における 総合交通環境改善の推進	①各拠点駅ごとの事業実施状況	駅名	田無駅	未着手	一部整備済 (駅前広場)	一部整備済 (駅前広場)		②拠点駅における満足度	62.4%	整備未完了のため 評価しない	↗	74.0%	↗
				ひばりヶ丘駅	未着手	一部整備済 (西口駅前広場)	一部整備済 (南口駅前広場)							
保谷駅	一部整備済 (西3・4・12のみ事業中)	一部整備済 (西3・4・12のみ事業中)	一部整備済 (西3・4・12のみ事業中)	73.4%	↗									
保谷駅	未着手	未着手	整備済											
4 将来都市構造を 支える骨格交通ネット ワークの実現	9 骨格的幹線道路の 効率的・効果的整備	①対象都市計画道路の事業着手 延長割合 ②対象都市計画道路の事業完了 延長割合	・整備対象生活道路 の事業着手、整備 完了の延長割合	路線区間	1 西3・3・14	未着手	事業中	事業中	①代表道路(新青梅街道・青梅街道、武蔵境通り)における旅行速度 ※道路交通センサス結果(混雑時旅行速度)より	16.6km/h (平成22年度)	14.7km/h (平成27年度)	↘	未更新	
				2 西3・4・13	未着手	未着手	事業中							
				3 西3・4・20	未着手	未着手	未着手							
				4 西3・4・11	未着手	未着手	一部事業中							
				5 西3・5・10	未着手	未着手	未着手							
				6 西3・4・9	事業中	事業中	一部整備済							
				7 西3・4・26	一部事業中	一部事業中	一部整備済							
				8 西3・4・24	一部事業中	一部事業中	一部事業中							
				9 西3・3・3	未着手	未着手	未着手							
				10 西3・5・2	一部事業中	一部事業中	一部事業中							
	・自動車交通量の多い路切の対策				未着手	未着手	未着手							
	・ボトルネック交差点対策				未着手	未着手	未着手							
	10 幹線的バス路線の 交通円滑化・交通安全対策 の実施	①駅前広場の動線改善箇所		駅名	ひばりヶ丘駅南口	未着手	整備済 (平成29年度末)	整備済	①公共交通利用者数 ※パーソントリップ調査結果より	14.6km/h (平成22年度)	12.5km/h (平成27年度)	↘	未更新	
		②バスベイ整備箇所数		田無駅北口	未着手	未着手	未着手							
11 バス交通の利便性の向 上	①バス運行情報提供実施状況		バス停へのバスベイ設置		未着手	未着手	未着手	①公共交通利用者数 ※パーソントリップ調査結果より	216,568人/日 (平成20年度)	現在パーソントリップ調査実施中 のため調整中(今後集計予定)		224,903人/日 (平成30年度)		
	②バス停のベンチ ・上屋設置箇所数		はなバス	ベンチ	20	21	21							
			上屋	7	8	8								
			民間路線バス	ベンチ	13	16	16							
			上屋	38	38	43								
	③バス停ポール統一箇所数				未実施	未実施	未実施							
	④コミュニティバスの見直し実施状況				H25実施 (料金改定)	H28実施 (ルート見直し)	未実施							
	⑤乗継ぎ利便性の改善策実施状況				未実施	実施	実施							
	⑥バス利用普及啓発策の実施状況				実施	実施	実施							
	5 マイカーに 適度に頼らず移動し やすい低炭素な 交通環境の実現	12 歩行者・自転車空間の 計画的整備推進	①新規整備都市計画道路の 自転車空間設置割合 ②モデル路線の整備促進 ③整備済み都市計画道路の 自転車空間設置割合 ④自転車利用に関するサイン 整備箇所数	路線区間	①1 西3・2・6	事業中 (自転車歩行者道)	H25整備済 (自転車歩行者道)						整備済 (自転車歩行者道)	②自転車空間確保区間 走行台キロ ※道路交通センサスより 対象付近の同路線 12時間交通量を元に 走行台キロを算定
①2 西3・3・3					未着手	未着手	未着手							
③3 西3・4・5(五日市街道)					未着手	整備済 (ナビマーク)	整備済 (ナビマーク)							
③4 西3・4・8					未着手	整備済 (ナビマーク)	整備済 (ナビマーク)							
①③5 西3・4・11					未着手	未着手	一部整備済 (ナビマーク)							
③6 西3・4・13					未着手	未着手	一部整備済 (ナビマーク)							
①③7 西3・4・15					未着手	未着手	未着手							
②8 西3・4・16		未着手 (モデル路線化)	未着手 (モデル路線化)	整備済 (ナビマーク)										
①③9 西3・4・17		未着手	未着手	未着手										
①③10 西3・4・20		未着手	一部整備済 (ナビマーク)	整備済 (ナビマーク)										
③11 西3・4・22		未着手	未着手	(ナビマーク)										
③12 西3・4・23		H24整備済 (自転車レーン)	H24整備済 (自転車レーン)	整備済 (自転車レーン)										
③13 西3・5・4		未着手	一部整備済 (ナビマーク)	一部整備済 (ナビマーク)										

参考:市内交通事故の発生状況

年度	平成25年（策定時）	令和4年（12月時点）
全事故	<p>全事故の発生状況は、市内で北原交差点付近で最も多く120件/km²以上、駅周辺では、ひばりヶ丘駅周辺が90~105件/km²となっている。</p>	<p>全事故の発生状況は、市内で北原交差点付近で最も多く40~50件/km²、駅周辺では、田無駅北側で20~30件/km²となっている。</p>
自転車の事故	策定時資料なし	<p>自転車の事故の発生状況は、西武新宿線と新青梅街道との間の地域、新町、向台町で多くなっている。</p>
歩行者の事故	<p>歩行者の事故の発生状況は、駅周辺での発生件数が多く、ひばりヶ丘駅、田無駅周辺が多く、次に保谷駅が15~20件/km²となっている。駅周辺以外では、保谷新道や向台町三丁目付近などで多くなっている。</p>	<p>歩行者の事故の発生状況は、住吉町での発生件数が多く最大20件/km²となっている。その他、駅周辺で多くなっている。</p>

図 駅周辺歩行者・自転車交通事故件数

出典：交通事故発生マップ（警視庁ホームページより）による交通事故発生密度分布